

UD56T / UC56T

TM-Series MFP 専用スキャナーユニット Lm24／Lm36

取扱説明書

V1.02



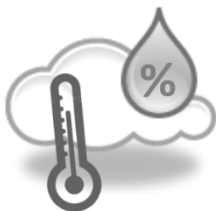
目次

安全にお使いいただくために.....	5
適合宣言書.....	6
スキャナーの概要.....	7
主な特長.....	7
スキャナー:各部の名称.....	8
スキャナーの箱を開梱する.....	9
スキャナーの箱に同梱されているもの.....	10
スキャナーをプリンターに取り付ける.....	11
スキャナーを卓上で使う.....	13
スキャナーを接続する.....	14
スキャナーの LCD タッチスクリーン.....	15
電源.....	15
LED.....	15
LCD タッチスクリーンメニュー.....	15
スリープモード.....	17
アイコン表示によるメッセージ.....	17
言語の設定.....	18
スキャナーのネットワークモードを設定する.....	19
スキャナーをネットワークに接続する.....	21
DHCP.....	21
固定 IP アドレス.....	22
Scan アプリ L のインストール.....	24
Scan アプリ L の操作.....	27
Scan アプリ L エラーメッセージ.....	30
プリンターと PC の設定.....	31
プリンターにプリンターナンバーを割り付ける.....	31
PC に PC ナンバーを割り付ける.....	34
スキャナーを使用する.....	37
原稿をスキャナーにセットする.....	37
スキャナーを開く、閉じる.....	39
スキャン to USB : TIFF ファイル.....	40
スキャン to USB (拡張モードの場合).....	42
スキャン to PC.....	45

コピー（Scan アプリモードが標準モードの場合）.....	49
コピー（拡張モードの場合）.....	52
コピー＆アーカイブ.....	55
スキャナーを使用する <各種機能設定>.....	59
お好みの設定をデフォルトとして保存する.....	65
スキャナーをより効果的にお使いいただくために.....	66
巻き癖がきつい原稿.....	66
設定の目安.....	66
破損しやすい原稿をスキャンする（キャリアシートの使用）.....	67
コピー時に画像の端が切り取られるのを防ぐ.....	68
スキャナーの設定.....	69
スキャナーの設定を保存する.....	72
スキャナーのメンテナンス.....	73
スキャナーのクリーニング.....	73
消耗品.....	73
キャリブレーション.....	74
ステッチの調整.....	76
スキャン長さの調整（自動）.....	78
スキャン長さの調整.....	78
ファームウェアを更新する.....	80
トラブルシューティング.....	82
エラーコード.....	82
操作に関するよくある質問.....	83
原稿が正しく搬送されない.....	83
スキャナーの自動サイズが正しく機能しない.....	83
スキャナーの LED がつかない.....	83
スキャナーの電源スイッチを入れると LED がオレンジのままの状態となる.....	83
スキャン画像やコピーが真っ白になる.....	83
スキャン開始のボタンを押しても、USB メモリーにスキャンデータが入らない.....	83
スキャン to PC を行うと正しくスキャンできずに画像が途中で切れてしまう.....	84
PC にスキャンデータを作成できない.....	84
コピー開始のボタンを押してもコピーできない.....	84
接続をテストしてみる.....	84
ネットワークに関する情報.....	85

動作環境	86
画質	87
スキャンやコピーの長さが正しくない	88
Lm24 / Lm36 スキャナーの技術仕様	89
用語集	91
Lm24 / Lm36 アイコンガイド(機能の設定)	92
Lm24 / Lm36 アイコンガイド(スキャナーの設定)	93

安全にお使いいただくために

	スキャナーを落とさないでください。本器には振動や衝撃で破損する恐れのある部品が含まれています。
	スキャナーの開閉時に指を挟まないように注意してください。
	露出した電気部品に触ると感電する恐れがあります。
	スキャナーまたは電源アダプターに直射日光が当たらないように注意してください。
	付属の電源コード以外は使用しないでください。 付属の電源コードは他の機器で使用できません。 製品を使用するにあたり、アースを取り付けてください。
	スキャナーに水がかかったりする場所、または湿気の多い場所で使用しないで下さい。
	操作環境: 相対湿度 10%～90% 温度条件 10℃～35℃

適合宣言書

製造元	Global Scanning Suzhou Co. Ltd #39 Dongjing Industrial Zone, #9 Dongfu Road, Suzhou Industrial Park, Suzhou, Jiangsu, 215123
モデル名: 製品名: 機能: 定格電圧: 定格電流: 電源:	UD56T、UC56T Lm24、Lm36 大判スキャナー DC 19V 3.42A FSP065-REBXX (X=0-9, A-Z or Blank)
適合	国際エネルギースタープログラム (Energy Star) Argentina/S mark Australia/C-Tick National/CB Canada/ICES-003, CUL China/CCC India/BIS Japan/VCCI Korea/KCC Mexico/NOM-019-SCFI Russia/EAC EU/CE USA/FCC USA/UL
注意: この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A	

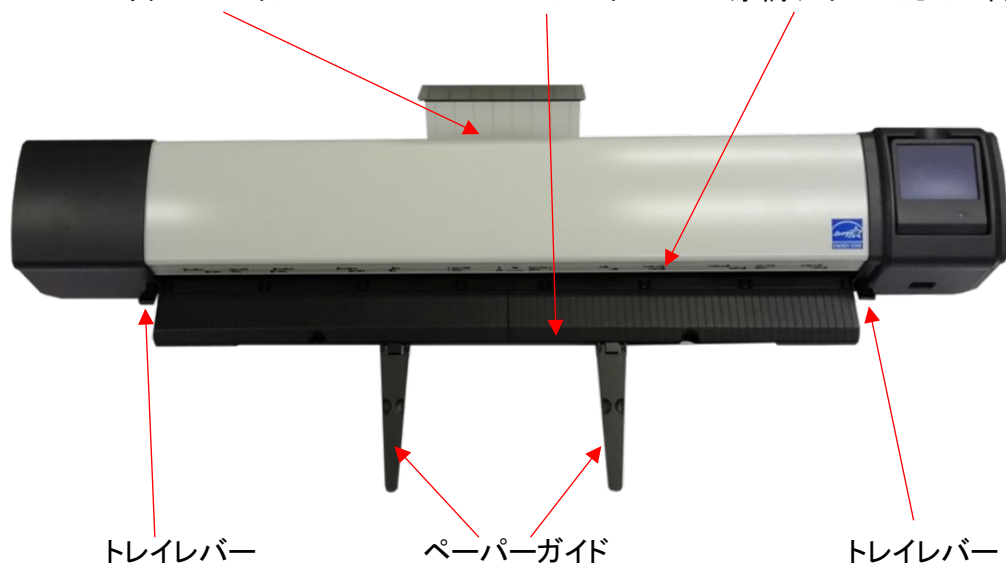
スキャナーの概要

主な特長

- 機能:
 - スキャン to USB メモリー
 - スキャン to PC(ネットワーク接続 PC)
 - コピー
 - コピー&アーカイブ
- タッチスクリーン
- 光学解像度 600dpi
- 全読取り幅を一本のセンサーでスキャンするシングルセンサーテクノロジー(特許取得済み)
- デュアル LED 光源(2 方向からの発光)により、図面の折目やしわに生じる影を軽減
- 用紙のしわを伸ばしながら安定した用紙搬送を実現するホールドアッププレート
- 最大読み取り幅 610mm(Lm24)、914 mm(Lm36) に対応するフェイスアップスキャナー
- 最大原稿幅 Lm24:660mm、Lm36:965mm
- 超軽量スキャナー

スキャナー:各部の名称

- ペーパーリターンガイド
- ペーパートレイ
- 原稿サイズのための目盛り



- USB メモリー挿入口
- 操作画面 – LCD タッチスクリーン



- 電源スイッチ
- 入力電源
- イーサネットケーブル

- マグネット付き原稿ガイドが 1 セット同梱されています。用紙のサイズに合わせてペーパートレイの上にセットします。用紙を正しくスキャナーにセットするのに役立ちます。スキャナーに向かって正面左側に置くペーパーガイドには(L)、右側用には(R)と記されています。



スキャナーの箱を開梱する

- 安定したテーブルの上、または床にスキャナーが入った箱を置き、上箱を取り外します。



- キャリブレーションシートを確認し、別の場所に大切に保管してください。(ナイロンのシートで保護された厚紙箱に入っています)



**注意： このシートは、スキャナー調整用に必要です。
大切に保管してください。**

- スキャナーを保護している発泡ポリエチレンを取り除き、ビニール袋からスキャナーを取り出して安定したテーブルの上に置きます。

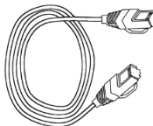
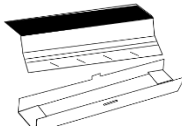
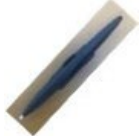


- スキャナーは輸送用に粘着テープで固定されています。スキャナーを設置する前にこのテープを取り外してください。両端のレバーを押してゆっくりとスキャナーを開き、中にある発砲ポリエチレンを取り除きます。スキャナーの中に何も残っていないことを確認し、レバーがカチッとロックされるまで用紙トレイ部分を両手で押し上げて本体をしっかりと閉じます。



スキャナーの箱に同梱されているもの

- 下記の品目がこのスキャナーに同梱されていることを確認してください。

イラスト	品目名	数量	イラスト	品目名	数量
	イーサネット ケーブル(長さ2m)	1		スキャナー マウント固定ネジ	6
	電源ケーブ ル (電源アダプ ターに接続)	1		スキャナー本体固定ネ ジ	2
	電源アダプ ター (長さ2m)	1		ケーブルクリップ	1
	3mm 六角 L 棒レンチ	1		スキャナー マウント 左側 1 個 右側 1 個	2
	キャリブレ ーションシー ト (保護ケース 入り)	1		Lm24/Lm36 スキャナークイックスタ ートガイド	1
	インストール CD (ユーザ ーガイド含 む)	1		タッチペン と フォルダー	1
	卓上用 スタンド (1 セット)	2		卓上用スタンド 固定ネジ	2
	ペーパーリ ターンガイド			原稿ガイド (1 セット)	2
	Lm24 用	1			
	Lm36 用	3			
注意) 付属している電源アダプター以外は、絶対に使用しないでください。					

スキャナーをプリンターに取り付ける

- プリンター(TM-Series)の両サイドにスキャナーマウントを取り付けます。
 (対応プリンター: TM-250/350, TM-255/355、TM-240/340)

- 同梱する 3mm 六角 L 棒レンチを使ってネジを取り外します。

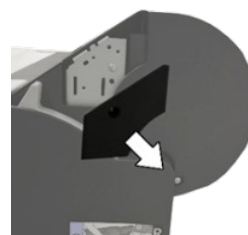
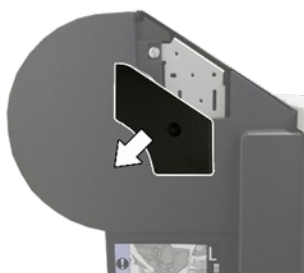
左側:



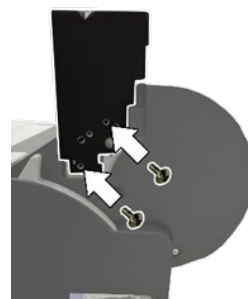
右側:



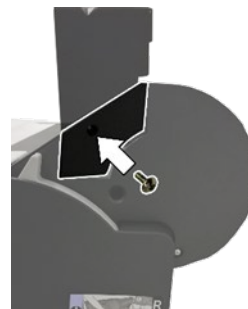
- 両端のカバーを取り外します。



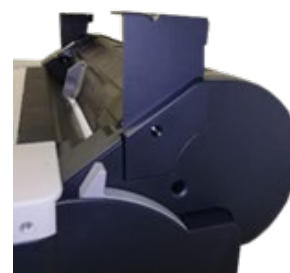
- 3mm 六角 L 棒レンチを使い、スキャナーに付属される 2 個のネジで両側のスキャナーマウントを固定します。



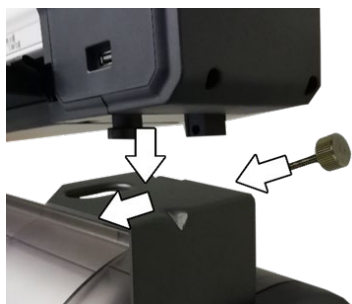
- スキャナーマウントをネジで固定した後、再度カバーを取り付けます。



- これで両端のスキナーマウントの取付けが完了です。



- スキナーをスキナーマウントの上に乗せます。スキナーの脚をスキナーマウントの穴に入れ、スキナーを手前にスライドさせます。

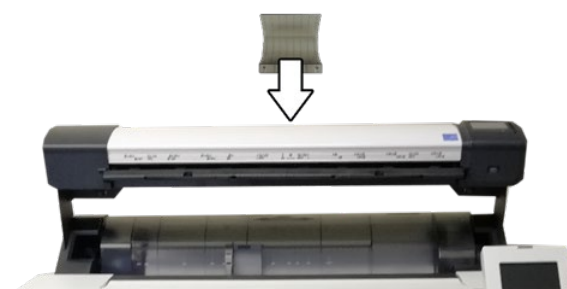


重要: 付属される2つの「スキナー本体固定ネジ」でスキナーをスキナーマウントに固定して下さい。固定しないとスキナーが滑り落ちる可能性があります。

- ケーブルクリップを右側のスキナーマウントに取り付けます。



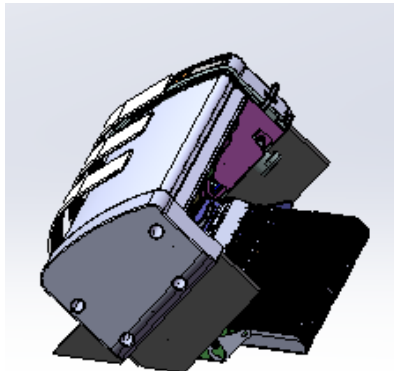
- ペーパーリターンガイドをスキナーの背面にある取り付け用の穴に取り付けます。ペーパーリターンガイド1枚につき、2ヶ所の取り付け穴があります。(Lm24 には 1 枚、Lm36 には 3 枚のペーパーリターンガイドを取り付けます)



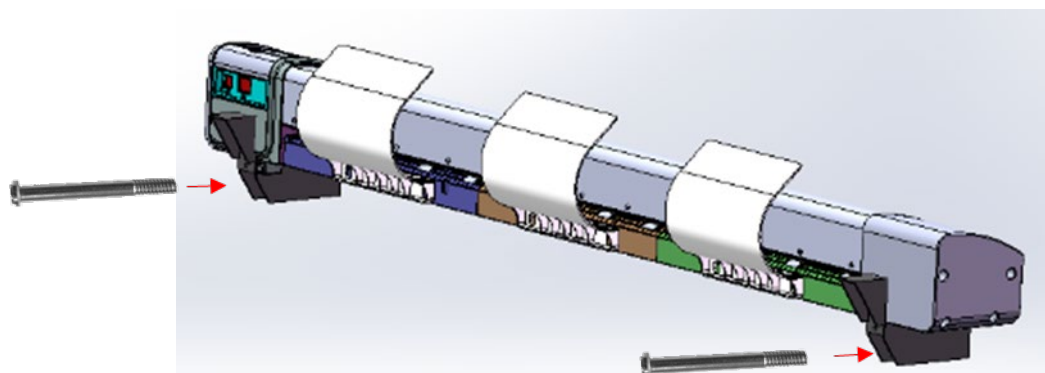
注記: キャリアシートを使用する場合、また厚手の原稿をスキャンする場合には、ペーパーリターンガイドを取り外してください。

スキャナーを卓上で使う

- スキャナーを卓上で使用する際は 2 個の卓上用スタンドをスキャナーに取り付けてください。スキャナーがデスクトップで滑らないようにゴム製のパッドが付いています。ペーパーリターンガイドやケーブルを傷つけずにスキャナーのクリーニングができるように後方に傾けることができます。



- 卓上用スタンドは 2 つのパーツで構成されています。スキャナーの後ろに取り付ける三角のパーツとスキャナーの下に取り付ける長方形のパーツに分かれています。スキャナーの下に取り付けるパーツはスキャナー下の脚にスライドしてはめ込みます。
- 卓上用スタンドの三角のパーツは右用、左用で形状が異なります。右用は R、左用は L と記されています。スキャナーの背面から卓上用スタンド固定ネジで固定します。



スキャナーを接続する

- スキャナーの背面にイーサネットケーブルを接続します。
 - スキャナーのコントローラーはネットワークを経由してプリンターと通信します。プリンターはネットワークに接続されていてオンラインの状態であり、コピーの準備ができていることを確認して下さい。
 - プリンターとスキャナーを直接イーサネットケーブルで接続した場合には、スキャン to PC の機能を使うことができません。



- プリンター接続

イーサネットポート

USB ポート



- 電源ケーブルと AC アダプターを接続して下さい。右側のスキャナーマウントに取り付けたケーブルクリップにケーブルを通します。小さな円形プラグを Lm24/Lm36 スキャナーの背面にあるコネクタに差し込みます。(付属している電源アダプター以外は、絶対に使用しないでください)

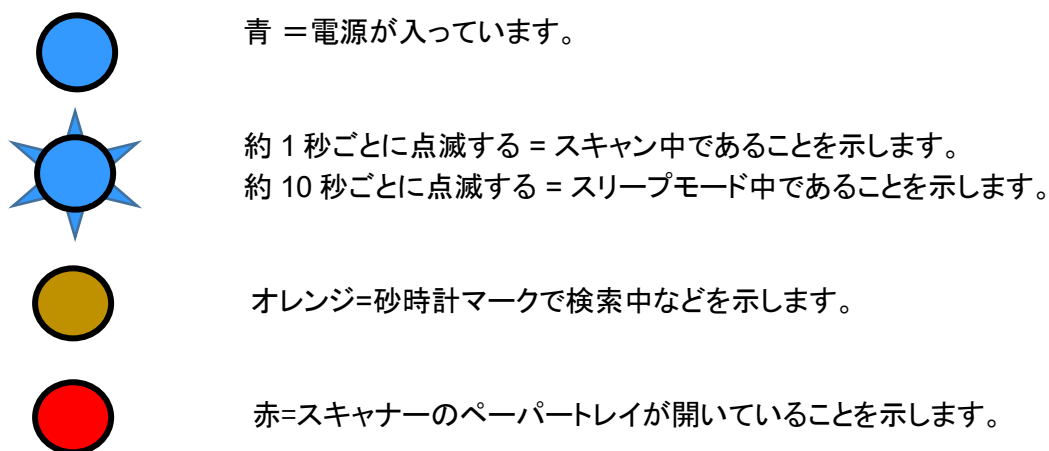


スキャナーの LCD タッチスクリーン

電源

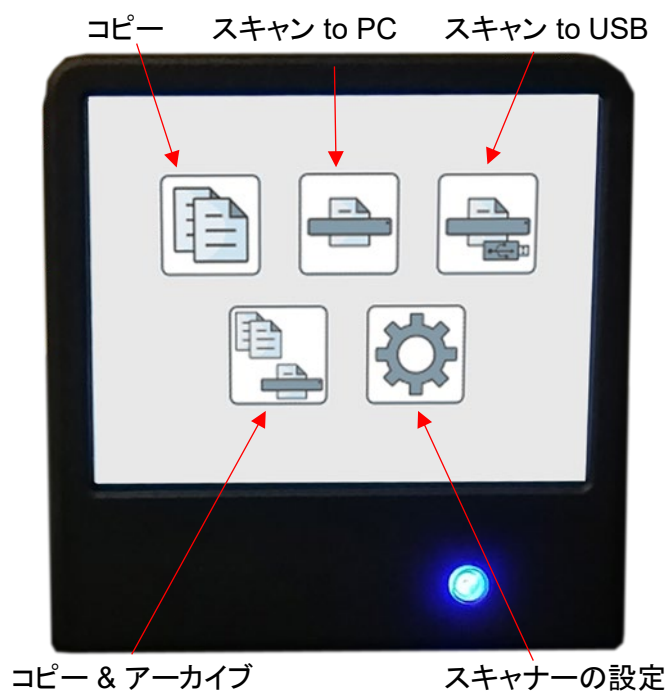
- スキャナー右側側面にある電源スイッチをオンにします。
- スキャナーの右側にある液晶ディスプレイ（LCD）が点灯し、各種アイコンが表示されます。操作パネルの LED がオレンジ色から青に変われば正常に起動しています。（LED がオレンジ色のまま点灯する場合は、ペーパートレイがしっかりと閉じられていない可能性があります。ペーパートレイを確認して下さい）

LED

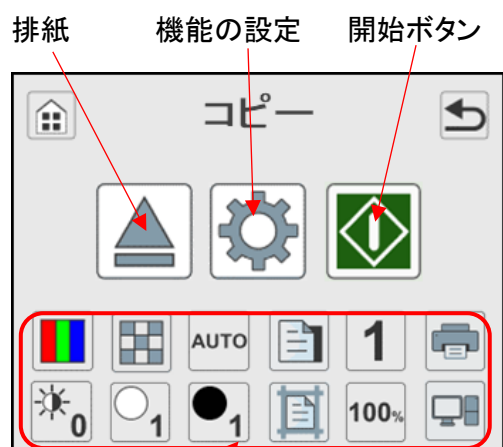


LCD タッチスクリーンメニュー

ホームの画面



機能画面 (コピー)

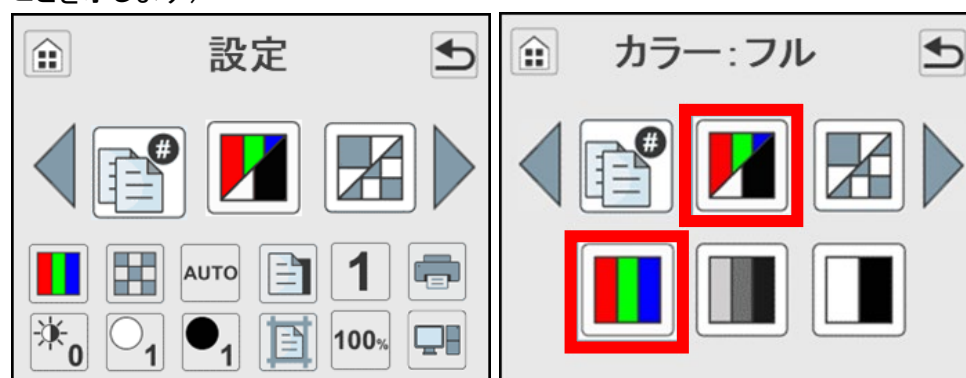


現在の設定 (コピー)

現在有効になっている設定。アイコンをタッチすると直接その設定画面にアクセスし、各項目の設定を変更できます。

電源投入時のデフォルト設定：カラーモード、標準解像度、自動サイズ、原稿縦置き、コピー部数 1、プリンターX、明るさ=0、白ポイント=1、黒ポイント=1、枠のトリミング=オフ、コピー倍率 100%、PCX。デフォルト設定はお好みの設定に変更することができます。詳しくは[お好みの設定をデフォルトとして保存する](#) (64 ページ)を参照してください。

アイコンをタッチして設定の画面に入ります。(赤い枠で囲まれたアイコンは現在選択されていることを示します)



左右アイコン：スクロールして設定するアイコンを選択します。



ホームアイコン：ホーム画面に移動します。機能設定メニューからこのボタンをタッチすると変更した全ての設定がキャンセルされます。



バックキー：一つ前のページに戻ります。



チェックアイコン：設定を保存し、一つ前の画面に戻ります。

スリープモード

- スキャナーは国際エネルギースタープログラムに適合しており、15 分間未使用の場合、自動的にスリープモードに移行します。(この設定は変更、または無効にすることができません)
- スリープモード中の消費電力は最少になり、10 秒毎に操作パネル上の青色 LED が点滅します。
- タッチスクリーンをタッチするとスリープモードを解除できます。

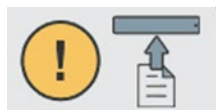
アイコン表示によるメッセージ



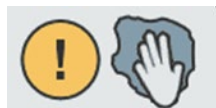
スキャナー処理中



スキャナーが開いています：ペーパートレイが開いています。閉じてください。



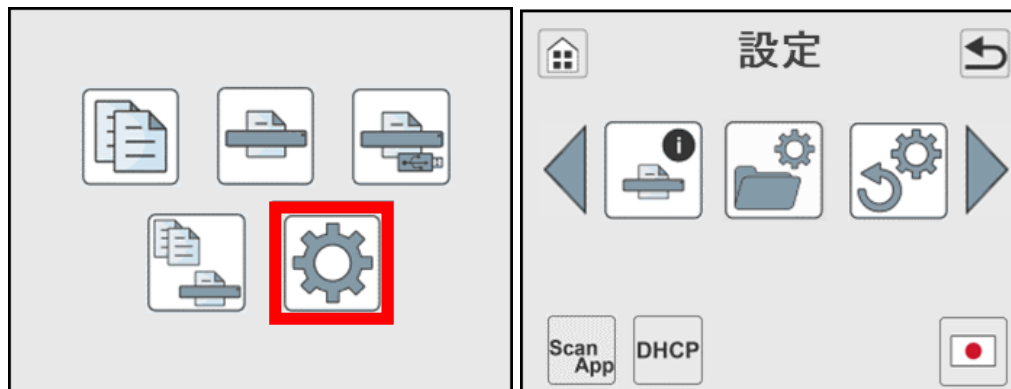
原稿がセットされていません：原稿をスキャナーにセットしてください。



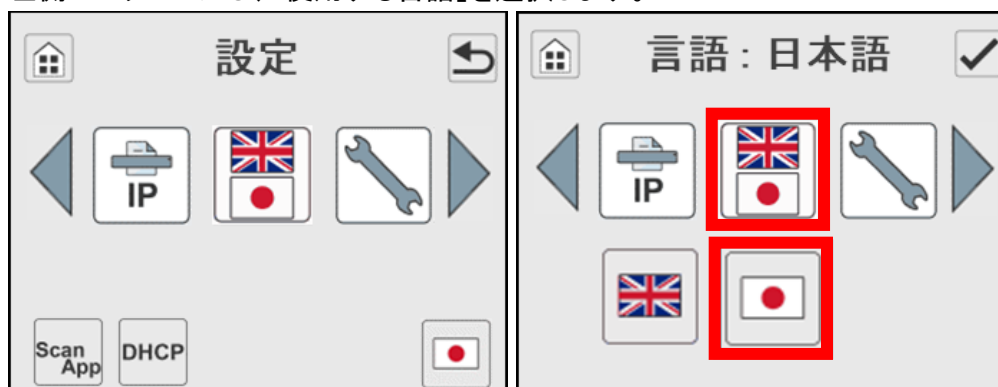
スキャナーが汚れています。[スキャナーのクリーニング](#) (72 ページ)を行ってください。

言語の設定

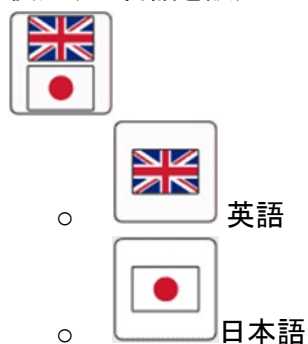
- スキャナーの側面にある電源スイッチを入れます。
- ホーム画面にある「スキャナーの設定」を選択します。



左側にスクロールし、「使用する言語」を選択します。



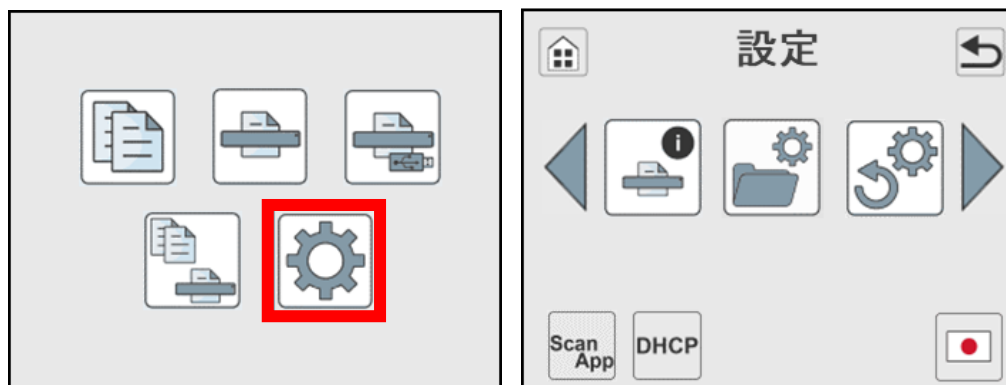
- 使用する言語を設定します。



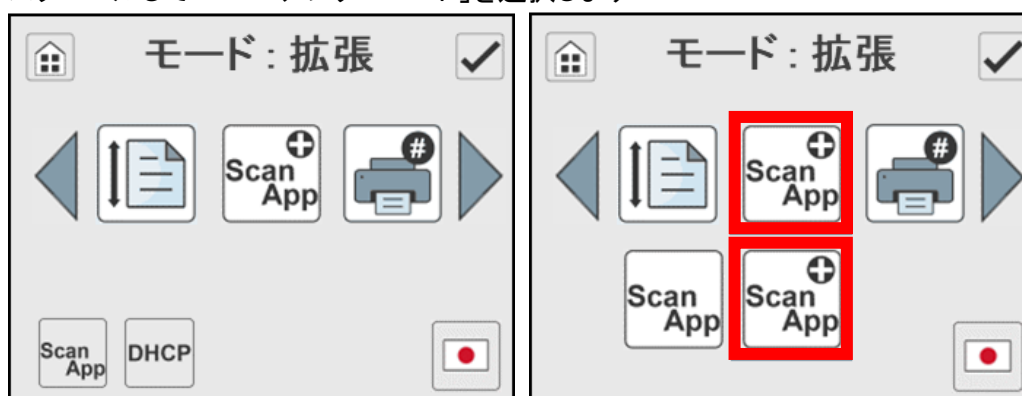
注記: 日本語を選択すると標準ネットワークモードに設定され、英語を選択すると拡張ネットワークモードに設定されます。[ネットワークモード](#)については 19 ページを参照してください。

スキャナーのネットワークモードを設定する

- ホーム画面より「スキャナーの設定」を選択します。



スクロールして「Scan アプリ L モード」を選択します



- Scan アプリ L モードを選択します。



拡張モード

Scan アプリ L に拡張機能が追加されます。Scan アプリ L が起動している PC が複数ある場合には優先して使用する PC を拡張 PC として設定することができます。

- (1) **コピー** : スキャンと同時にスキャンデータは直接 PC に転送され、スキャナーの内蔵メモリーに一時保存されません。そのため、すぐに次の原稿をスキャンできる状態になります。その後、Scan アプリ L がプリンターにプリントデータを送信します。
- (2) **スキャン to USB** : ファイル形式 : PDF、PDF/A、M-PDF (マルチページ PDF) JPEG
スキャンと同時にスキャンデータは直接 PC に転送され、すぐに次の原稿をスキャンできる状態になります。その後、Scan アプリ L がスキャンファイルを圧縮し、データをスキャナーに差し込まれている USB メモリーに保存します。スキャン to USB で PDF、PDF/A、M-PDF、JPG が選択された場合、自動的に拡張モードが使用されます。



標準モード

- (1) **コピー** : スキャンデータは直接プリンターに転送されます。プリンターでのコピーが終わると次のスキャンを開始します。
- (2) **スキャン to USB** : (TIFF のみ) スキャンデータはスキャナーの内蔵メモリーに一時保存された後、USB メモリーに転送されます。PC を経由しません。

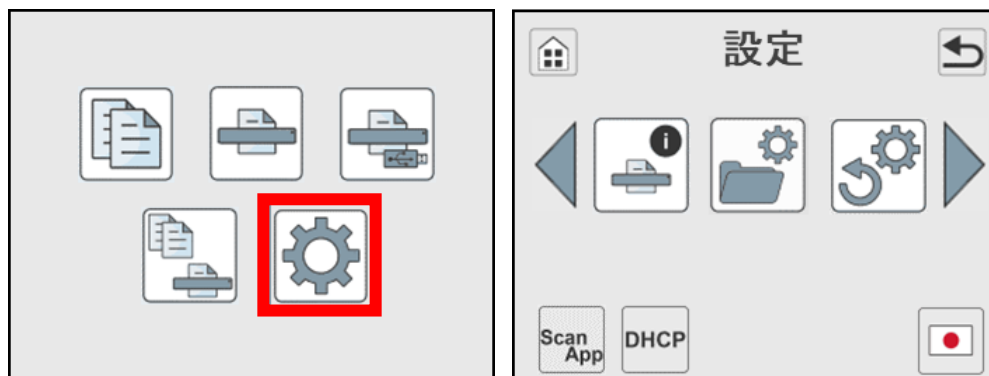
Scan アプリ L モード標準/拡張は、以下の機能に影響を与えません:

- (1) **スキャン to PC** : スキャンデータは PC に送信されます。Scan アプリ L は、ファイルを圧縮して保存します。
- (2) **コピー&アーカイブ** : スキャンデータを PC に送信します。Scan アプリ L は、ファイルを圧縮して保存し、印刷データをプリンターに送信します。

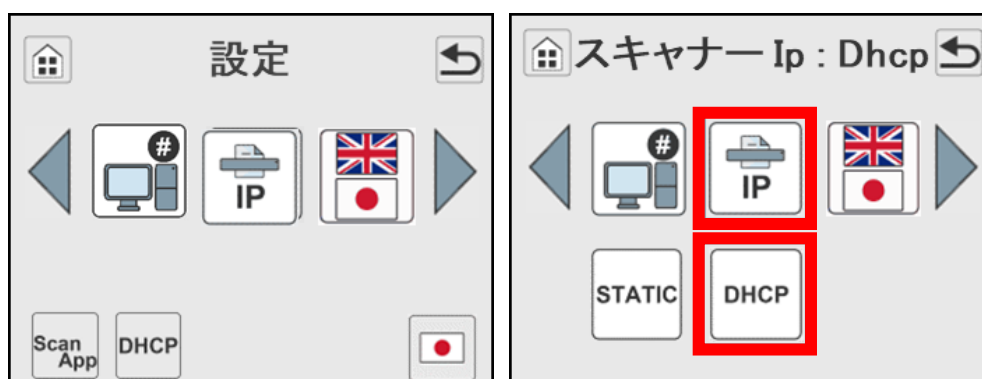
スキャナーをネットワークに接続する

DHCP

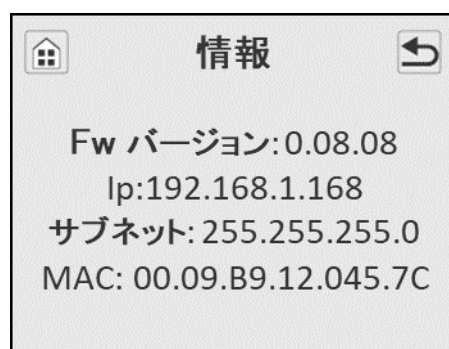
- ホーム画面から「スキャナーの設定」を選択します。



- 「ネットワーク」のアイコンを選択し、DHCP を選択します。



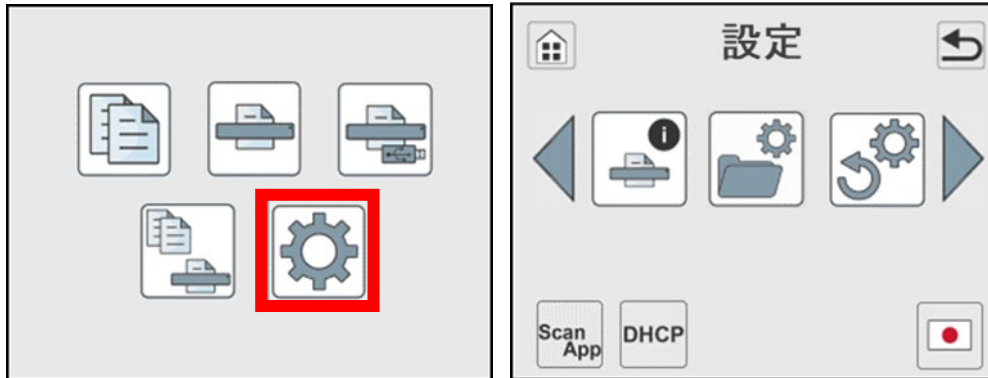
- DHCP を選択するとスキャナーが自動的にサーバーから IP アドレスを取得し、画面に表示します。



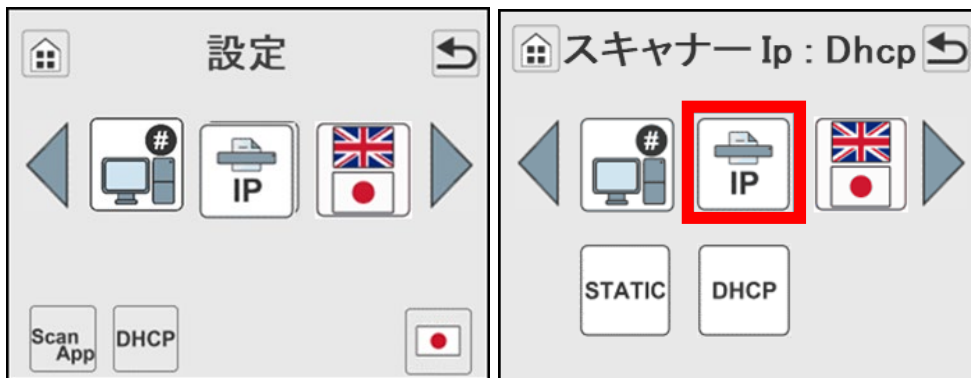
ホームアイコンをタッチしてこの画面を終了します。

固定 IP アドレス

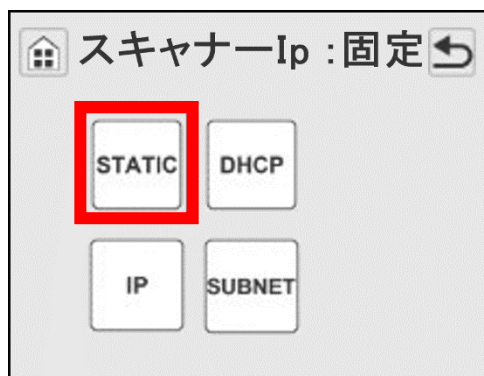
- 固定 IP アドレスとサブネットマスクの設定はネットワーク管理者の方にご確認ください。
- ホーム画面から「スキャナーの設定」を選択します。



- 「スキャナーネットワーク」のアイコンを選択します。



- 「STATIC(固定アドレス)」を選択します。



- 「IP」または「SUBNET」を選択し、数値を入力します。



🏠
Ip アドレス
↩

192.168.001.168

1

2

3

⬅️ X

4

5

6

0

7

8

9

↩

🏠
サブネットマスク
↩

255.255.255.000

1

2

3

⬅️ X

4

5

6

0

7

8

9

↩



「削除」キーを使い、現在のアドレスを削除して新しいアドレス(数字 0 も含みます)を入力します。



「Enter」キーをタッチして保存します。



キャンセル: 数値入力の操作をキャンセルし、前の画面に戻ります。



ホームアイコン: 数値入力をキャンセルし、ホーム画面に戻ります。

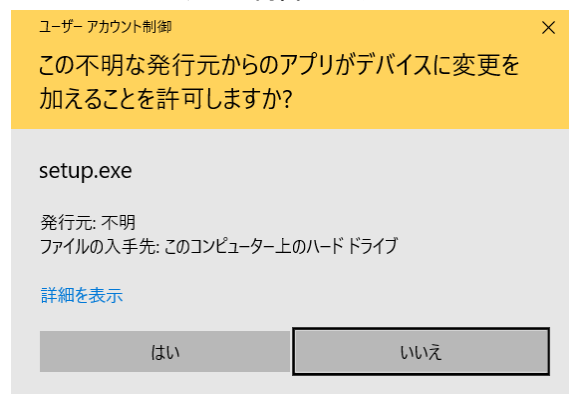
Scan アプリ L のインストール

- Scan アプリ L をインストールする PC を決めます。スキャン to PC を行うにはこの PC がネットワークに接続され、Scan アプリ L が起動していなければなりません。

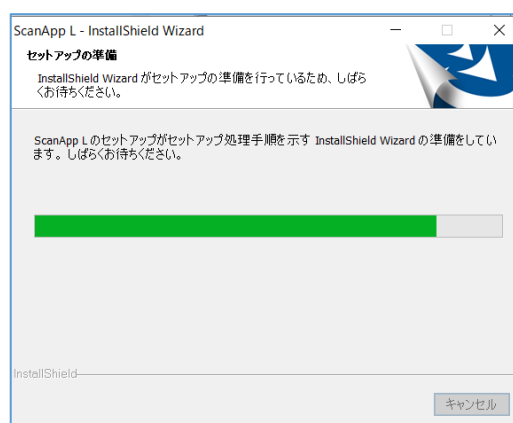
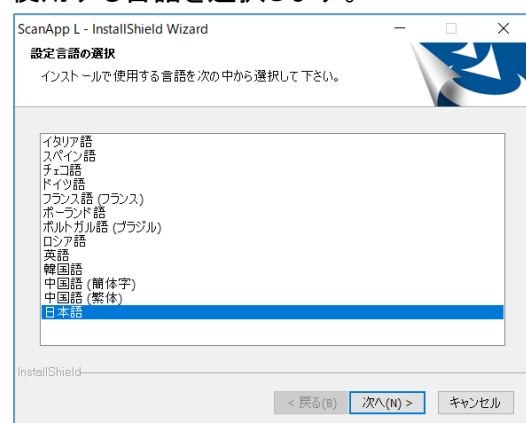
PC にインストールディスクを挿入すると自動的にインストールを開始します。

注記：Scan アプリ L は複数の PC にインストールすることができます。

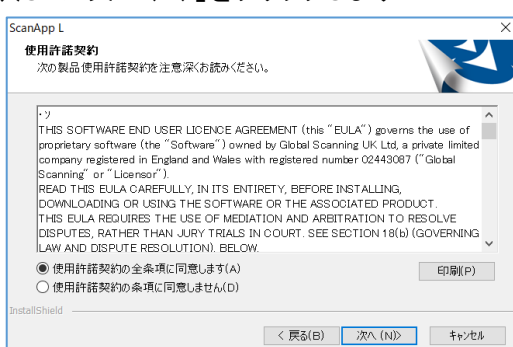
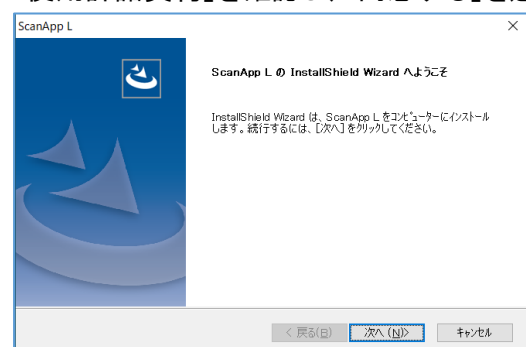
- ユーザーアカウント制御のメッセージが出たら「はい」をクリックします。



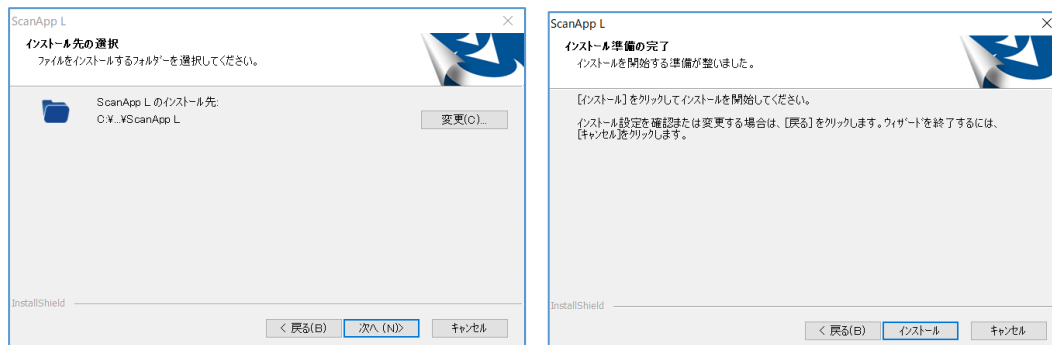
- 使用する言語を選択します。



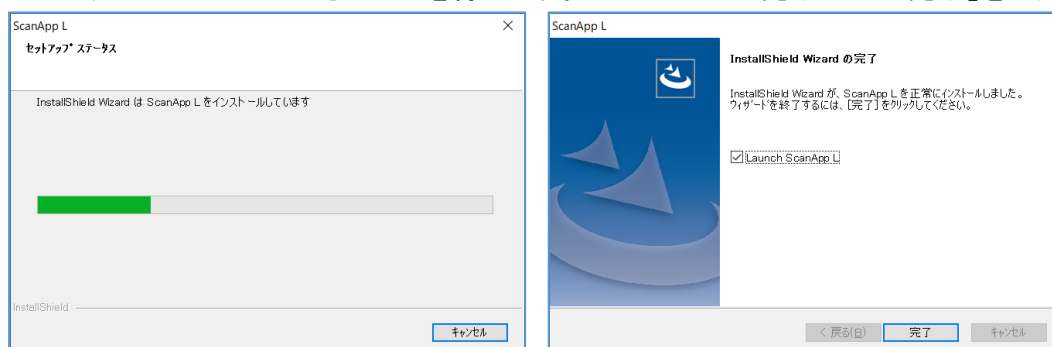
- 「使用許諾契約」を確認し、「同意する」を選択して「次へ(N)」をクリックします



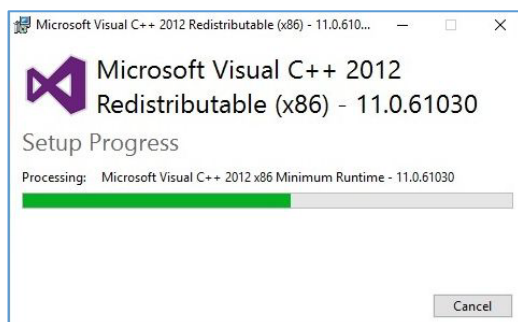
- インストールの画面で「次へ(N)」をクリックします。



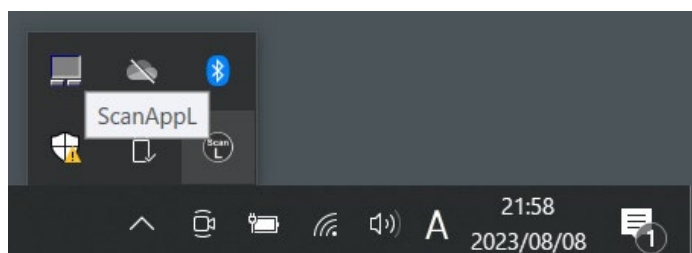
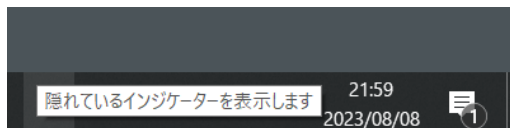
- プログラムがインストールされるのを待ちます。インストールが完了したら「完了」をクリックします。



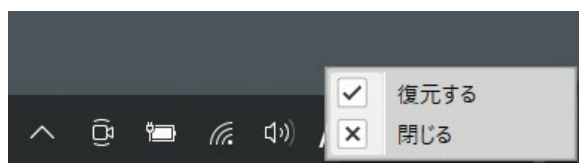
- Microsoft's® Visual C++が PC にインストールされていない場合、下記のメッセージが表示されます。「規約に合意する」にチェックを入れて「インストール」をクリックします。インストールが終了したら「閉じる」をクリックします。(このメッセージが表示されない場合はすでに Visual C++がインストールされていることを示します。)



- この CD の中には Lm24/Lm36 スキャナーの取扱説明書とソフトウェアリリースノートが入っています。一読するかプリント出力してご活用ください。
- Scan アプリ L は Windows® のタスクトレイに常駐し、PC が起動すると自動的にアプリケーションが起動します。Scan アプリ L のアイコンは PC 画面、右下の「隠れているインジケータ」の中から選択して PC の画面に表示することができます。

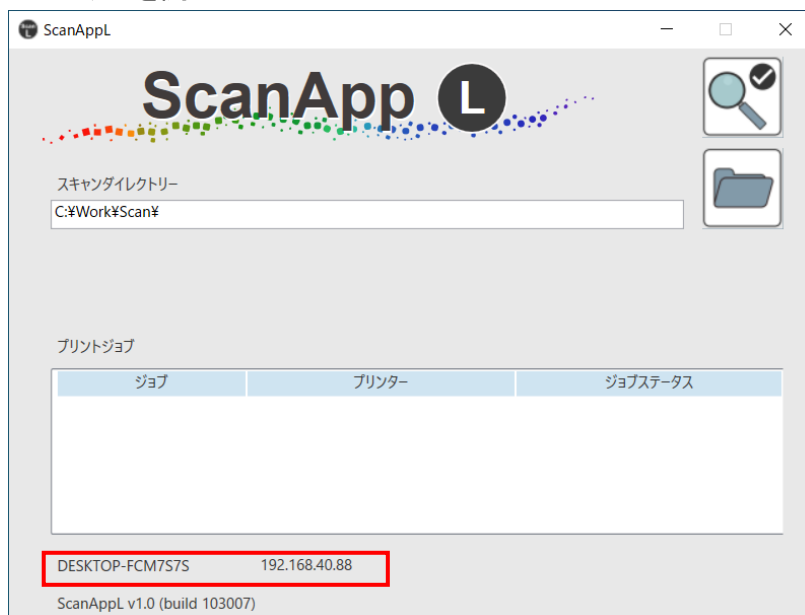


Scan アプリ L のアイコンを右クリックします。「復元する」をクリックしてアプリケーションを開きます。「閉じる」で Scan アプリ L を終了し、スキャナーと PC の接続を終了します。



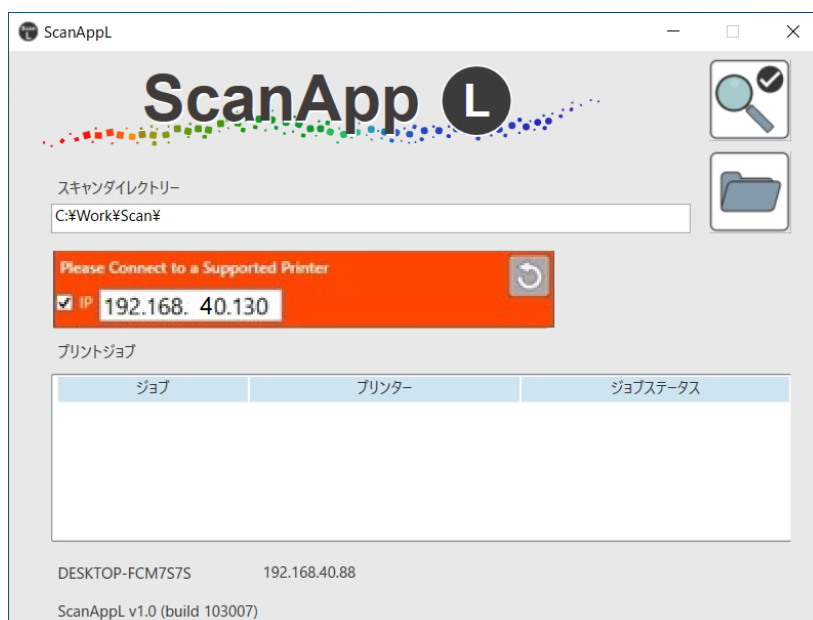
Scan アプリ L の操作

- Scan アプリ L を開く



- Scan アプリ L の画面左下部分に、PC 名と IP アドレスが表示されます。
(上図の場合 DESKTOP-FCM と 192.168.40.88)

注記：Scan アプリ L を実行している PC が複数のネットワークに接続されている場合、間違ったサブネットの IP アドレスを取得する可能性があります。この場合、使用するネットワークの接続のみをアクティブにし、Scan アプリ L を起動してください。Scan アプリ L が正しいサブネットに接続されると、正しい IP アドレスを表示します。



- Scan アプリ L はサポートされるプリンターと交信する必要があります。アプリケーションを起動すると同時にネットワークを検索し、プリンターを検知します。プリンターが自動的に検知されない場合、プリンターの起動を確認し、アプリケーションを再起動するか、またはプリンターの IP アドレスを入力してからプリンターを再検索し接続してください。

- PDF ファイルを受信したときに PDF ファイルのプレビューを PC 上に表示するかしないかの選択ができます。



PDF プレビューオン



PDF プレビューオフ

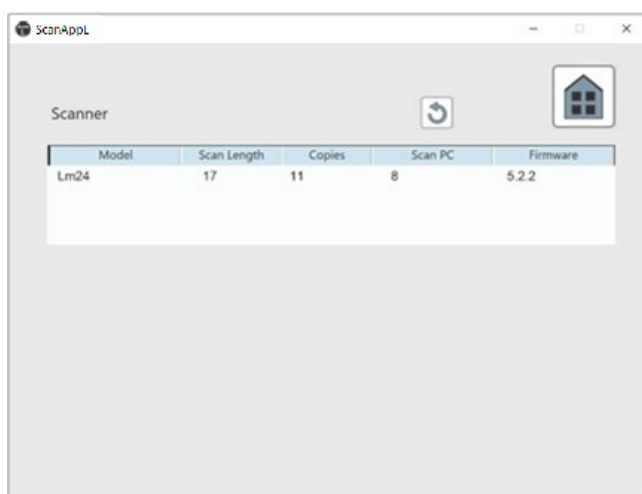


- スキャンした画像を保存するフォルダーを選択します。

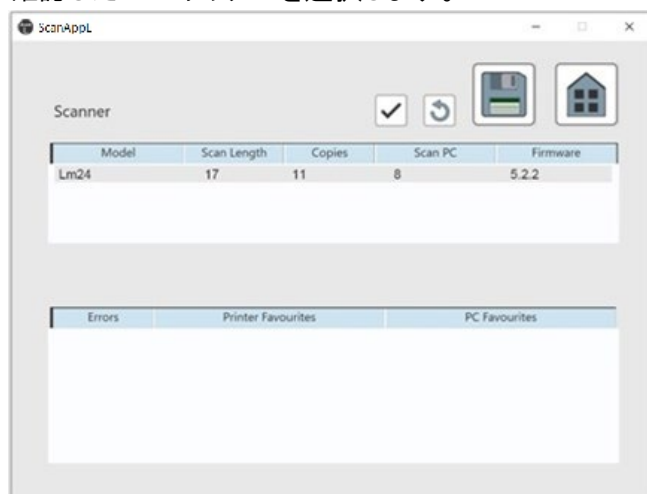
- 「プリントジョブ」には Scan アプリ L でスプールされたコピーをリスト表示します。(拡張モードでコピーを行った時)



- スキャナーリスト：サブネット上の Lm24 / Lm36 スキャナーを表示します。



確認したいスキャナーを選択します。



ScanAppl

Scanner

☒

Model	Scan Length	Copies	Scan PC	Firmware
Lm24	17	11	8	5.2.2

Errors	Printer Favourites	PC Favourites
24	TM-240:T92XX145	GS-UK-WS-0018
16	TM-240:T92XX145	GS-UK-WS-0018
24	TM-240:T92XX145	GS-UK-WS-0018
16	TM-240:T92XX145	GS-UK-WS-0018
24	TM-240:T92XX145	GS-UK-WS-0018
16	TM-240:T92XX145	GS-UK-WS-0018



ScanApp

Scanner

Lm24

Errors

24
16
24
16
24
16

Filename

C:\temp

ウィンドウを閉じた後も Scan アプリ L は Windows のタスクトレイに常駐アプリとして表示されます。

Scan アプリ L エラーメッセージ

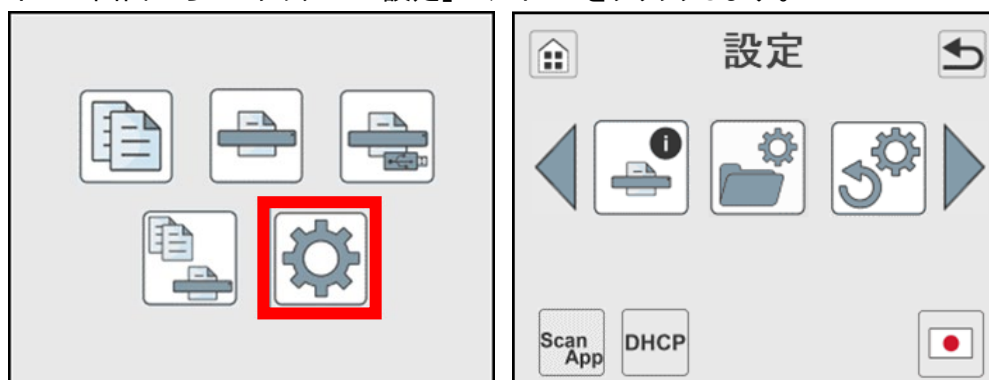
メッセージ	対処
サポートされているプリンターに接続してください	Scan アプリ L はサポートされるプリンター（少なくとも一台）がネットワーク上にあることを必要とし、アプリが定期的にプリンターを確認するように設計されています。 プリンターの電源を入れて Scan アプリ L の「再読み込み」アイコンを押すことでこのメッセージを消すことができます。
スキャナーを認識できません	Scan アプリ L がスキャナーを認識することができません。 操作に関するよくある質問 (82 ページ) を参照してください。
プリンターを認識できません	Scan アプリ L アプリがプリンターを認識できません。 操作に関するよくある質問 (82 ページ) を参照してください。
インターネット接続エラー	電源をオンオフし、Scan アプリ L を再起動してください。解決しない場合はサービスにご連絡ください。
無効なファイルエラー	電源をオンオフし、Scan アプリ L を再起動してください。解決しない場合はサービスにご連絡ください。
PDF ファイルエラー	電源をオンオフし、Scan アプリ L を再起動してください。解決しない場合はサービスにご連絡ください。
ファイル再送信エラー	電源をオンオフし、Scan アプリ L を再起動してください。解決しない場合はサービスにご連絡ください。

プリンターとPCの設定

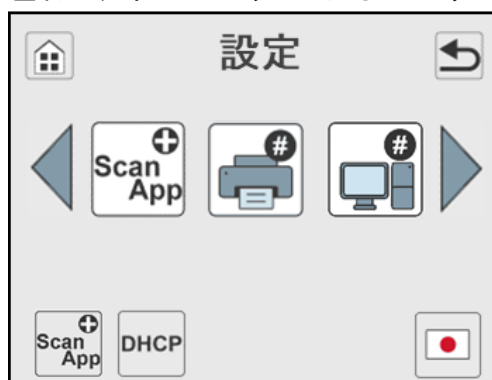
- プリント出力するプリンターやスキャンを保存するPCをスキャン毎にスキャナーから選択することができます。利用可能なプリンターやPCをスキャナーが自動で検索するようにデフォルト設定されています。
- 使用するプリンターやPCにナンバーを割り付け、優先デバイスとして設定することをお勧めします。スキャン毎に全デバイスの自動検索を行う過程を省くことができます。初めに利用可能なデバイス全てをスキャナーで検知し、次にそれぞれのデバイスにナンバーを割り当てます。検知されたデバイスのリストはスキャナーに保存され、スキャナーに再度電源を入れた時にリストは再構築されます。このリストはMACアドレスを元に構成されています。PCまたはプリンターに新しいIPアドレスが設定されても検索を行います。サブネット上の最大9台のプリンター、9台のPCにナンバーを設定することができます。

プリンターにプリンターナンバーを割り付ける

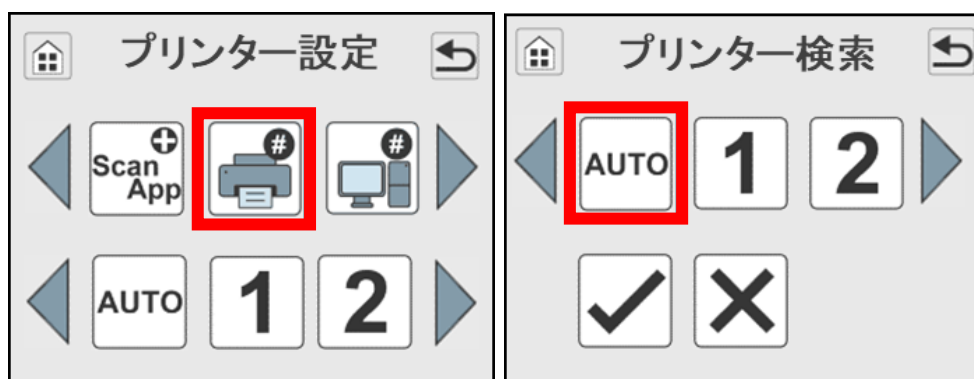
- 初めにネットワーク上の利用可能なデバイス全てを検索してからナンバーを割り付けます。使用したいプリンターをこのナンバーで選択することができます。
- ホーム画面から「スキャナーの設定」のアイコンをクリックします。



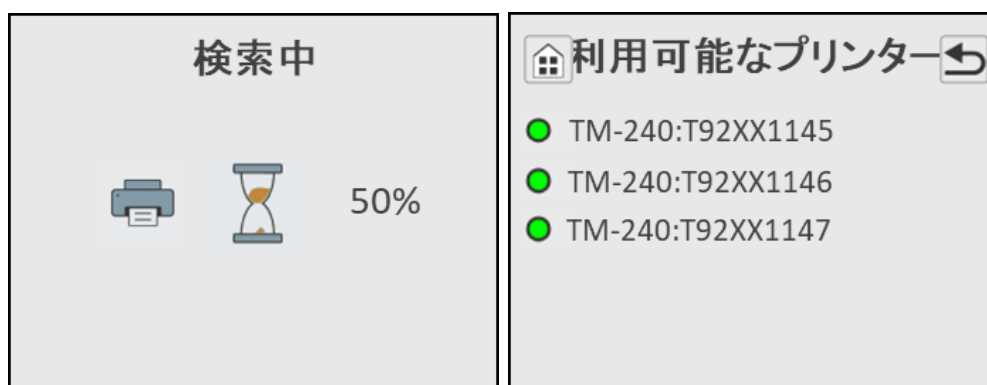
- 左右のアイコンでスクロールして「プリンターナンバー」のアイコンをクリックします。



- 「AUTO」を選択し、チェックを入れてネットワーク上の利用可能なプリンターを検索します。



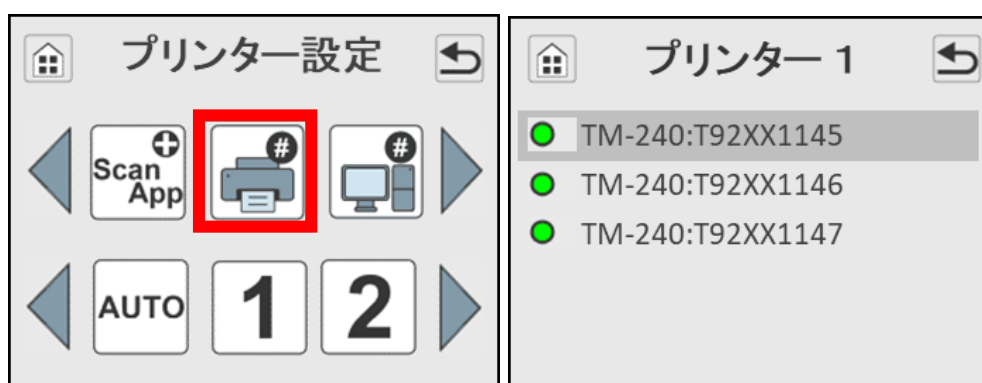
- スキャナーが利用可能なプリンターを検索し、モデル名とシリアルナンバーのリストを表示します。



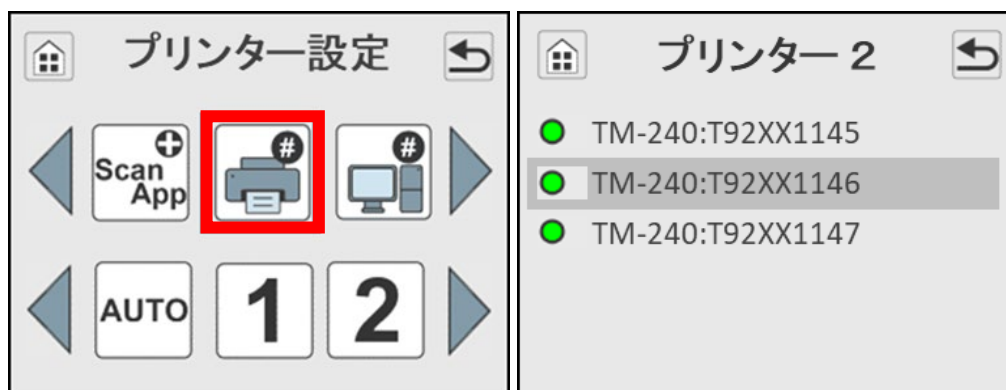
● モデルの先頭にある緑の丸印はオンラインであることを示します。

● 赤の丸印はオフラインであることを示します。

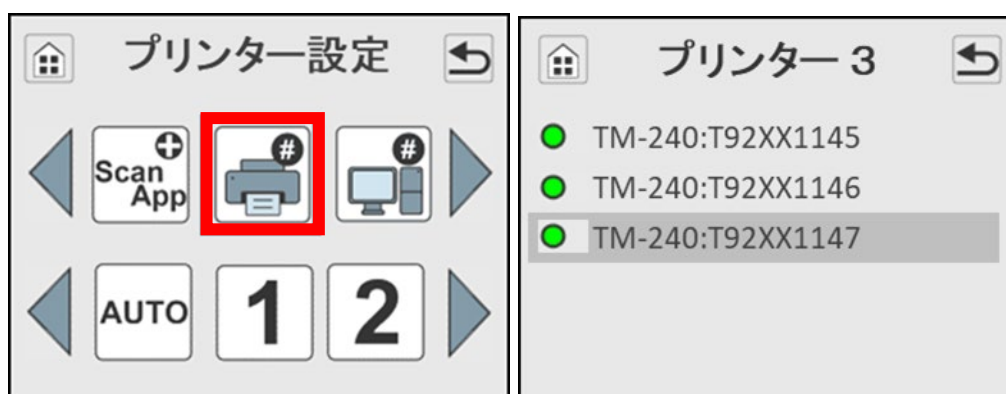
- 「プリンター設定」画面に戻り、プリンターナンバーを割り当てます。「1」をクリックし、表示されたリストの中から「1」を割り付けたいプリンターを選択します。



- 「プリンター設定」画面に戻り、同じ方法で次のプリンターにナンバーを割り付けます。
「2」をクリックし、表示されるリストから 2 番を割り付けたいプリンターを選択します。



- 「プリンター設定」画面に戻り、同じ方法で次のプリンターにナンバーを割り付けます。
「3」をクリックし、表示されるリストから 3 番を割り付けたいプリンターを選択します。

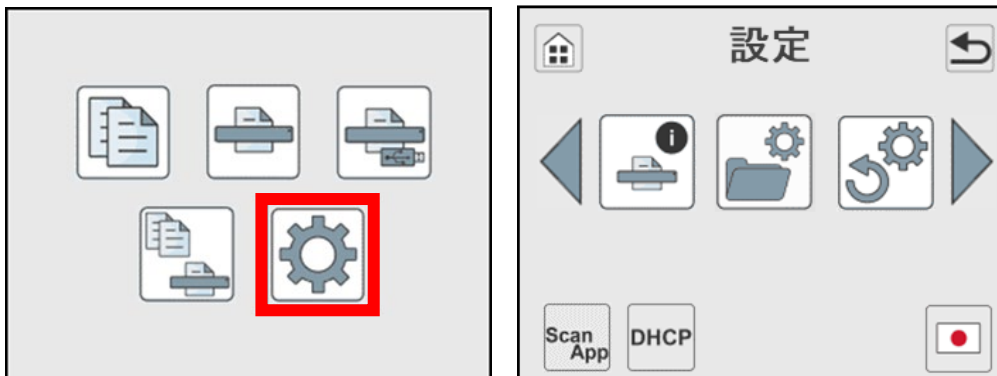


上記の例では 3 台の利用可能なプリンターにプリンターナンバーが設定されました。

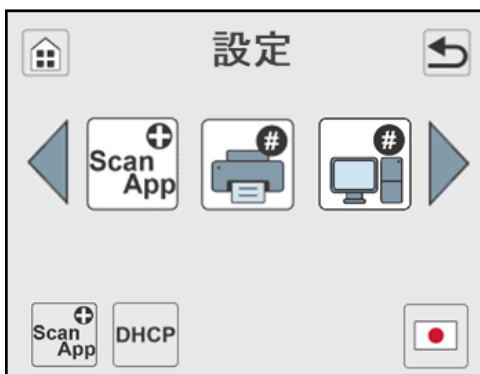
- プリンター1 = TM-240 S/N T92XX1145
- プリンター2 = TM-340 S/N T92XX1146
- プリンター3 = TM-240 S/N T92XX1147

PCにPCナンバーを割り付ける

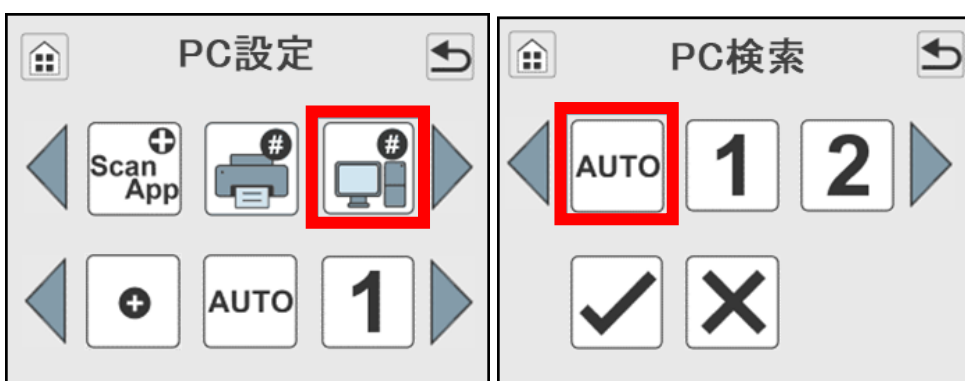
- 初めにネットワーク上の全ての利用可能なデバイスを検索してからナンバーを割り付けます。使用したいPCを割り付けたナンバーで選択することができます。
- ホーム画面より「スキャナー設定」のアイコンをクリックします。



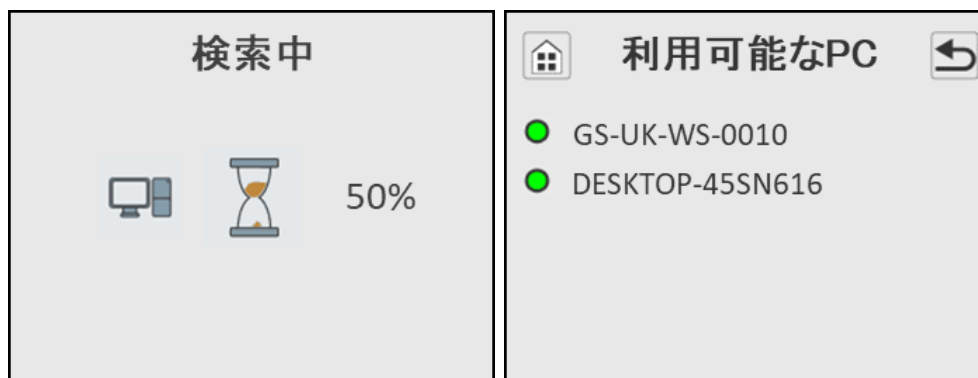
- 左右のアイコンでスクロールして「PCナンバー」のアイコンをクリックします。



- 「AUTO」を選択し、チェックを入れてネットワーク上の利用可能なPCを検索します。



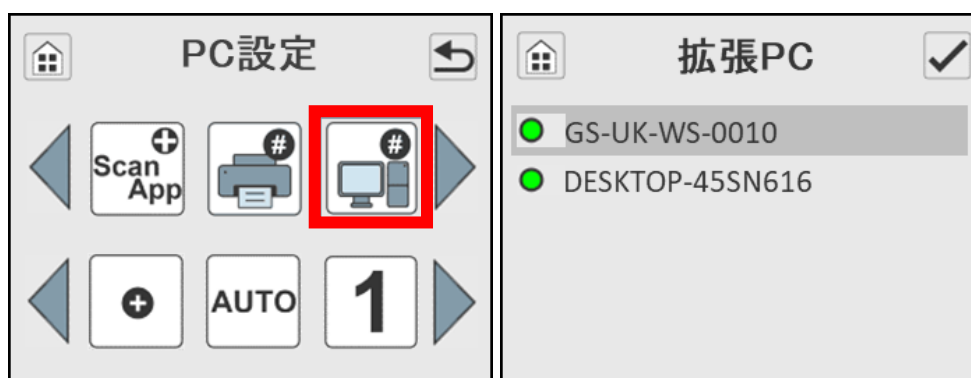
- スキャナーが Scan アプリを起動している PC を検索し、PC 名をリストの中に表示します。



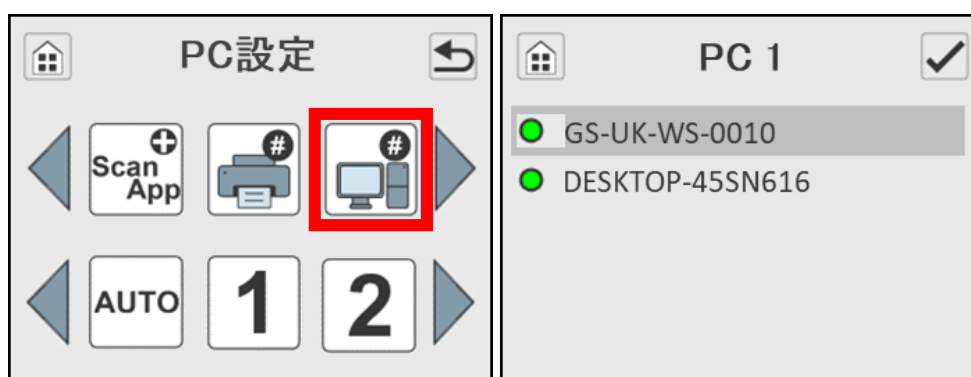
● PC 名の先頭にある緑の丸印はオンラインであることを示します。

● 赤の丸印はオフラインであることを示します。

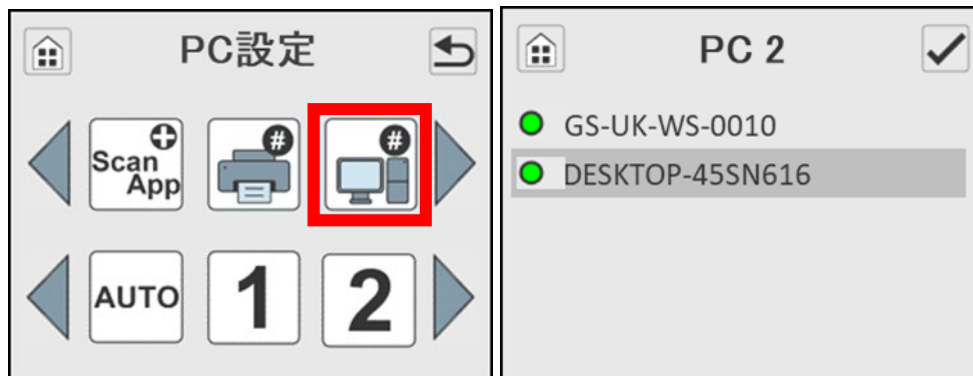
- 「PC 設定」画面に戻り、スクロールして拡張ネットワークモード時に使用される「拡張 PC」を選択します。



- 「PC 設定」画面に戻り、PC ナンバーを割り付けます。「1」をクリックし、表示されたリストの中から「1」を割り付けたい PC を選択します。



- 「PC 設定」画面に戻り、同じ方法で次の PC にナンバーを割り付けます。
 「2」をクリックし、表示されるリストから 2 番を割り付けたい PC を選択します。



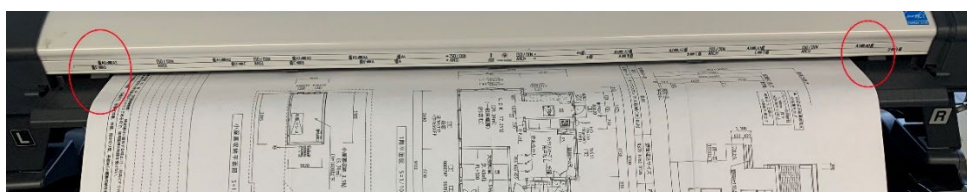
ここでは Scan アプリ L が起動している 2 台の PC に下記の様にナンバーが割り付けられた例です。

- 拡張 PC = GS-UK-WS-0010
- PC 1 = GS-UK-WS-0010
- PC 2 = DESKTOP-45SN616

スキャナーを使用する

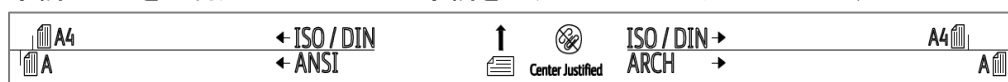
原稿をスキャナーにセットする

- 注意： ホッチキスの針やクリップのような物が付いた原稿をスキャンするとガラスに傷がつき、正しい画像データを取り込むことができません。また粘着テープやポストイットなどが付いた原稿をスキャンするとガラスに粘着剤が付き、画像の品質が悪くなる恐れがあります。事前に取り除いてください。
- キャリブレーションシートなど厚手の原稿をスキャンするときはペーパーリターンガイドを取り外し、後方にまっすぐに排紙されるようにしてください。巻き癖のある原稿は、ペーパーリターンガイドを取り外すか、原稿の給紙を介助して再巻き込みなどに気を付けまっすぐに排紙される様にして下さい。
- 原稿を上向きにして原稿の中央がスキャナーの中央に合うようにセットします。自動サイズでスキャンする場合、おおよそ中心に合わせることで正しくスキャンできます。定型サイズを使用する場合、スキャナーのカバーに印されている原稿サイズに原稿を合わせてセットします。ISO/DIN サイズは線の上に、ANSI サイズは線の左下に、ARCH サイズは線の右下に表示されています。



※原稿がセンサー領域から外れると自動サイズ認識が出来ません。カスタムサイズで間違ったサイズを表示してしまいます。自動サイズで原稿を読み込む際は、必ず両端ガイドの内側に原稿をセットして下さい。

- 原稿ガイドをご利用いただくことで原稿をより正しくスキャナーにセットすることができます。



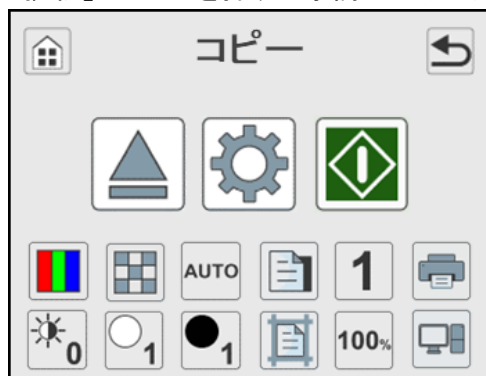
- 両手で原稿先端近くの両端を持ち、たるまないように少し原稿を引っ張り、真直ぐにしてスキャナーの開口口に平行になるように挿入します。0.5 秒後、原稿を検知するとスキャナーの中のローラーが自動的に駆動し、原稿をスキャナーに取り込み、スキャンやコピーを開始できるように正しい場所に原稿をセットします。



スキャナーで検知された原稿サイズを表示します。
 実際の原稿サイズと、スキャナーが認識する原稿サイズの誤差は $\pm 1.25\%$ です。
 定型サイズ以外のサイズの場合、「カスタムサイズ」と表示されます。



「排紙」アイコンを押すと原稿はスキャナーの後方に排紙されます。



排紙アイコン

- 紙詰まりを起こした場合、スキャナーを開き、手で原稿を取り除いてください。原稿はスキャナーの前方、または後方から取り出せます。詳しくは「[スキャナーを開く、閉じる](#)」を参照してください。

スキャナーを開く、閉じる

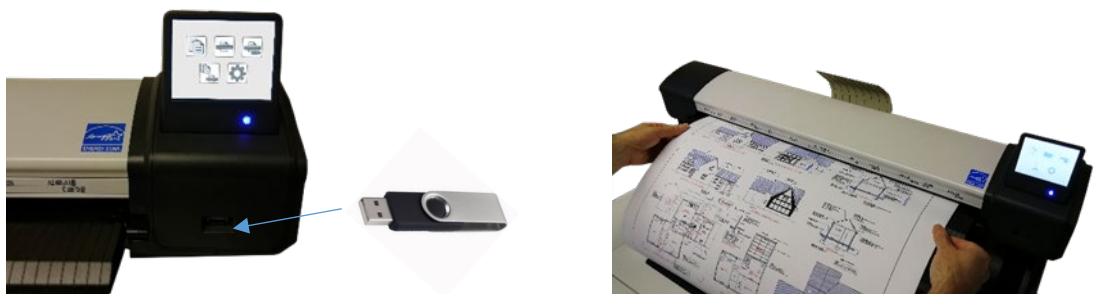
- スキャナーを長時間、開いたままにしないでください。
- スキャナー本体の両端にあるトレイレバーを同時に下げるとペーパートレイが下を開きます。



- 両手でペーパートレイ部分を押し上げてスキャナー本体をしっかりと閉じます。
本体が正しく閉じられるとカチッと音がし、両側のトレイレバーがロックされて固定されます。

スキャン to USB : TIFF ファイル

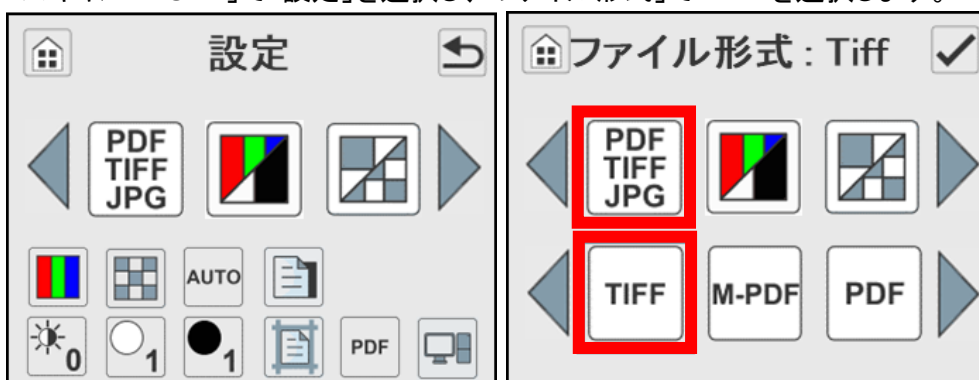
- スキャン to USB : TIFF ファイル形式
 スキャンデータはスキャナー内蔵メモリーに一時保存された後に USB メモリーに送信されます。
 PC を介しません。(USB メモリーに保存されたファイルにタイムスタンプを付けたい場合は拡張 PC
 を選択してください)
- スキャナー本体に USB メモリーを差し込みます。FAT32、128GB 以下の容量の USB メモリーを使
 用してください。USB 延長コードは使用しないでください。
- 原稿を上向きにして原稿の中心がスキャナーの中心に合うようにセットします。自動サイズでスキャ
 ンする場合、おおよそ中心に合わせることで正しくスキャンできます。



- ホーム画面から「スキャン to USB」のアイコンをタッチします。



- 「スキャン to USB」で「設定」を選択し、「ファイル形式」で TIFF を選択します。

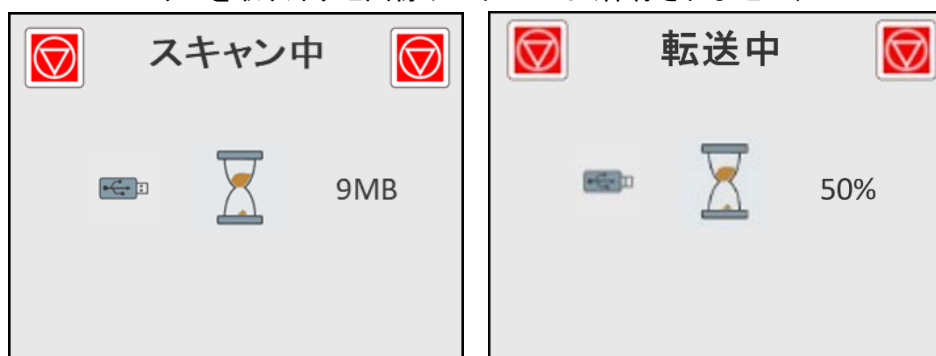


- その他変更したい設定があれば各種画面で行ってください。
 デフォルトの設定を使用する場合：カラーモード、標準解像度、自動サイズ、明るさ=0, BP(黒ポイント)=1、WP(白ポイント)=1、枠のトリミング=オフ



-  緑のアイコンでスキャンをスタートします。
-  赤の中止アイコンでスキャンを中止します。

スキャンを開始すると、スキャン中の画像のデータサイズを MB で表示します。スキャン完了後にスキャンデータを USB メモリーに転送します。MB で表示されていたデータサイズが連続して%表示に変わり、スキャンデータの USB メモリーへの転送状況を表示します。砂時計のマークが消えて保存が完了すると USB メモリーを取り外すことができます。(注意: 砂時計マークが表示されている時に USB メモリーを取り外すと画像データが正しく保存されません)



- USB メモリーを PC に差し込み、画像ビューワーで Scan000X と名前が付けられたファイルを開きます。0001 から始まり、自動的に数値が加算された連番形式のファイル名が付けられます。
- 注意：スキャン時に拡張 PC を接続していない場合、USB メモリーに保存されたファイルに表示されるタイムスタンプは正しくありません。ご注意ください。



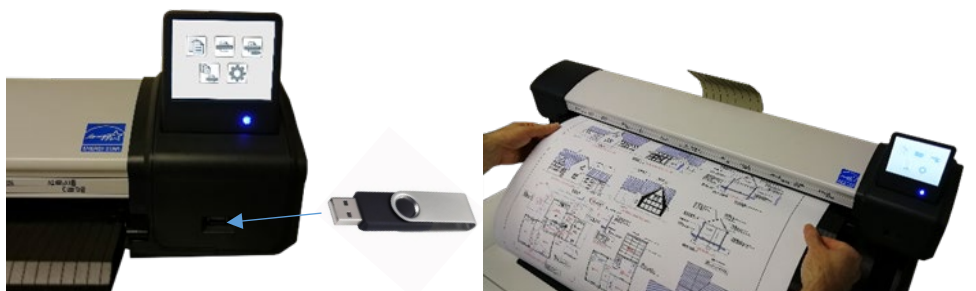
スキャン to USB（拡張モードの場合）

PDF / JPEG / M-PDF(マルチページ PDF)

- スキャン to USB：ファイル形式 = PDF / M-PDF(マルチページ PDF) / JPEG
 スキャンデータは直接 PC に転送され、すぐに次のスキャンができる状態になります。Scan アプリ L でデータを圧縮し、スキャナーに挿入されている USB メモリーに送り返します。
- 拡張 PC 上で Scan アプリ L が起動していることを確認して下さい。
 詳しくは [PC にナンバーを割り付ける\(34 ページ\)](#) を参照してください。



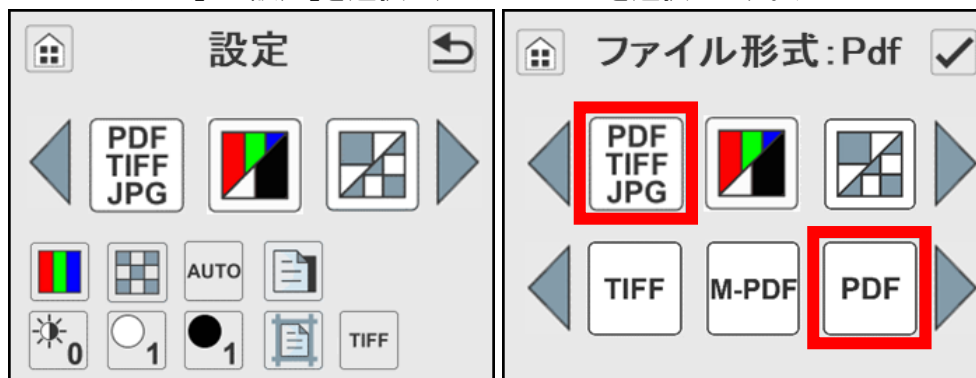
- ネットワークモードが拡張モードであることを確認して下さい。
 詳しくは [スキャナーのネットワークモードを設定する\(19 ページ\)](#) を参照してください。
- スキャナー本体に USB メモリーを差し込みます。FAT32、128GB 以下の容量の USB メモリーを使用してください。USB 延長コードは使用しないでください。
- 原稿を上向きにして原稿の中心がスキャナーの中心に合うようにセットします。自動サイズでスキャンする場合、おおよそ中心に合わせることで正しくスキャンできます。



- ホーム画面から「スキャン to USB」のアイコンをタッチします。



- 「USB スキャン」で「設定」を選択し、ファイル形式を選択します。(PDF / JPEG / M-PDF)



- その他変更したい設定があれば各種画面で行ってください。
 デフォルトの設定を使う場合：カラーモード、標準解像度、自動サイズ、明るさ=0, BP(黒ポイント)=1、WP(白ポイント)=1、枠のトリミング=オフ



- 緑のアイコンでスキャンをスタートします。

注記：拡張モードで Scan to USB を行う際は必ず拡張 PC を選択してください。



- キャンセル：赤の中止アイコンでスキャンを中止します。

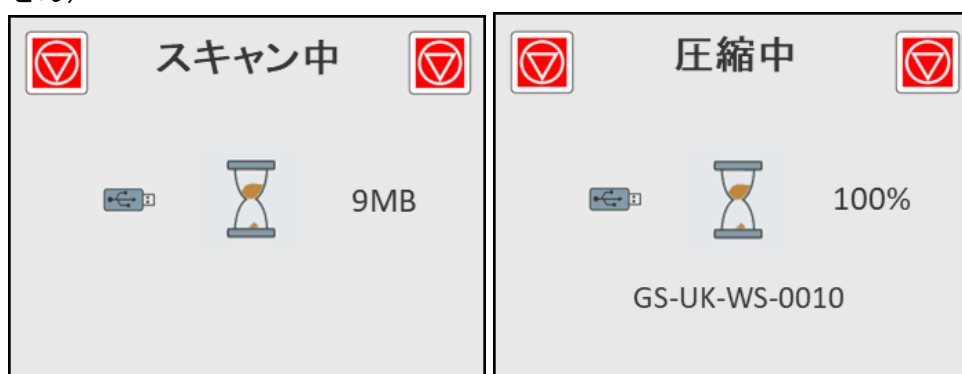
- マルチページ PDF (M-PDF) のファイル形式を選択した場合：
 「次の原稿を挿入して下さい」というメッセージが表示されたら原稿を挿入して下さい。
 原稿を挿入すると自動的にスキャンが開始されます。



全てのページのスキャンが完了したら赤のボタンをタッチしてファイルを閉じます。



- スキャンした原稿は、直接ネットワーク上の PC の Scan アプリ L に転送されます。スキャンしたデータの転送中、転送済のデータサイズを MB で表示します。Scan アプリ L が受け取ったデータを圧縮し、選択されたファイル形式に変換します。変換されたデータはスキャナーに差し込まれている USB メモリーに転送されます。データ転送後、MB 表示は連続して % 表示に変わり変換の進捗状況を示します。砂時計のマークが消えて保存が完了すると USB メモリーを取り外すことができます。(注意：砂時計マークが表示されている時に USB メモリーを取り外すと画像データが正しく保存されません)



- USB メモリーを PC に差し込み、画像ビューワーで Scan000X と名前が付けられたファイルを開きます。0001 から始まり、自動的に数値が加算された連番形式のファイル名が付けられます。



スキャン to PC

- スキャン画像を送信したい PC で Scan アプリ L が起動していることを確認してください。詳しくは [PC に PC ナンバーを割り付ける \(34 ページ\)](#) を参照してください。
- Scan アプリ L にスキャン画像を取り込むフォルダーが設定されていることを確認して下さい。詳しくは [Scan アプリ L の操作 \(27 ページ\)](#) を参照してください。
- 原稿を上向きにして原稿の中心がスキャナーの中心に合うようにセットします。自動サイズでスキャンする場合、おおよそ中心に合わせることで正しくスキャンできます。

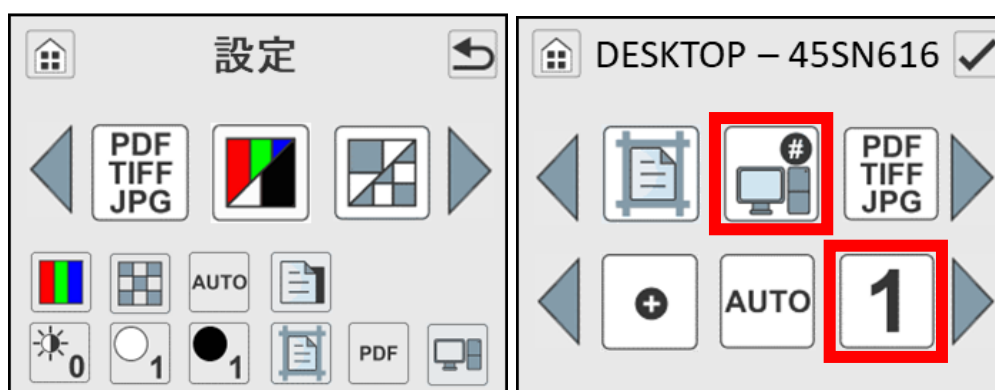


- ホーム画面より「スキャン to PC」のアイコンをタッチします。



スキャン to PC に使用される PC は「スキャン to PC」の画面に表示されています。PC 検索が「AUTO」の場合、スキャン毎にスキャナーが利用可能な PC を自動検索し、ユーザーがスキャンデータを保存したい PC を選択します。

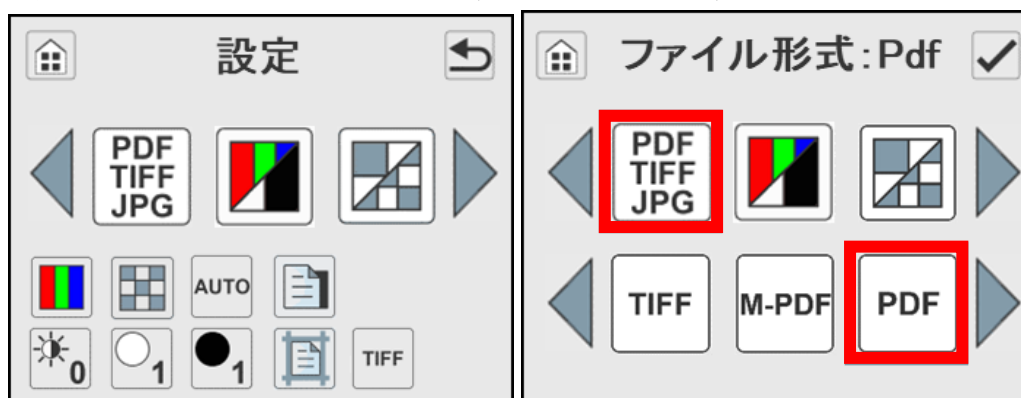
スキャン to PC を行う PC を変更するには「スキャン to PC の設定」でスクロールし、「PC ナンバー」のアイコンをタッチします。使用したい PC ナンバーを選択します。



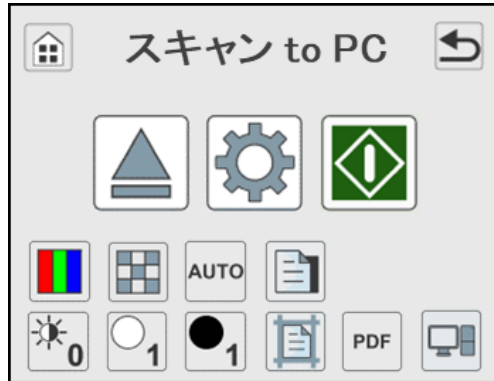
注記：選択された PC 名が画面の上に表示されます。赤で表示された場合、その PC は電源が入っていないか、または Scan アプリ L が起動していないことを示します。その場合には、PC の Scan アプリ L が起動していることを確認してください。
 Scan アプリ L の起動が確認できましたら、上記のスキャナー画面を閉じ、再度同じ画面を開いてください。変更内容が反映されます。



- 「スキャン to PC の設定」を選択し、ファイル形式を選択します。
 ファイル形式：PDF / JPEG / M-PDF (マルチページ PDF)



- その他変更したい設定があれば各種画面で行ってください。
 デフォルトの設定を使用する場合：カラーモード、標準解像度、自動サイズ、明るさ=0、BP(黒ポイント)=1、WP(白ポイント)=1、枠のトリミング=オフ



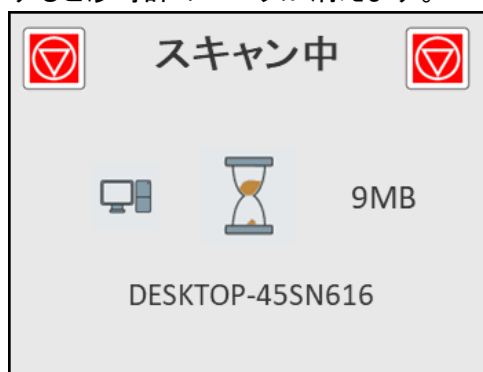
-  緑の開始アイコンでスキャンを開始します。
-  赤の中止アイコンでスキャンを中止します。
- マルチページ PDF (M-PDF) のファイル形式を選択した場合：
 「次の原稿を挿入して下さい」という画面が表示されたら原稿を挿入して下さい。
 原稿を挿入すると自動的にスキャンが開始されます。



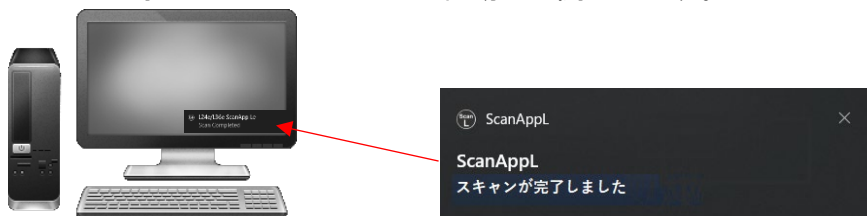
スキャンが完了したら赤の中止アイコンを押してファイルを閉じます。



- スキャンしたデータは、直接ネットワーク上の PC の Scan アプリ L に転送されます。スキャンしたデータの転送中、転送済のデータサイズを MB で表示します。PC へのスキャンデータの転送が完了すると砂時計のマークが消えます。



- Scan アプリ L が「スキャンが完了しました」というメッセージを表示し、Scan アプリ L で設定されたスキャンディレクトリーに画像が保存されます。画像ビューワーでファイルを開きます。PDF ファイルは PC のデフォルト PDF ビューワーで自動的に開かれます。



日付と時間の数値でスキャンファイルに下記の様にファイル名が付けられます。
 YYYY-M-D-H-M-S
 2017-8-3-15-11-1

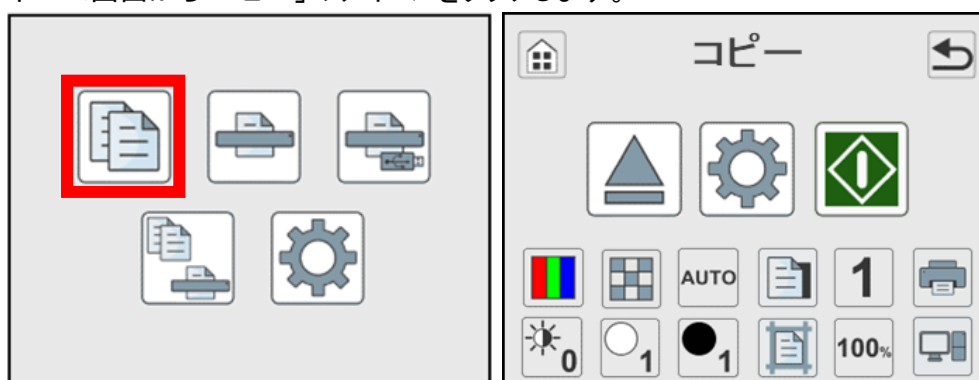
コピー（Scan アプリモードが標準モードの場合）



- スキャンデータはスキャナーの内蔵メモリーに一時保存された後にプリンターに送信されます。PC を介しません。
- 詳しくは[スキャナーのネットワークモードを設定する](#)（19 ページ）を参照してください。
- プリンターがネットワークに接続されていて、プリントできる状態であることを確認します。原稿を上向きにし、原稿の中心がスキャナーの中心に合うようにセットします。自動サイズでスキャンする場合、おおよそ中心に合わせることで正しくスキャンできます。

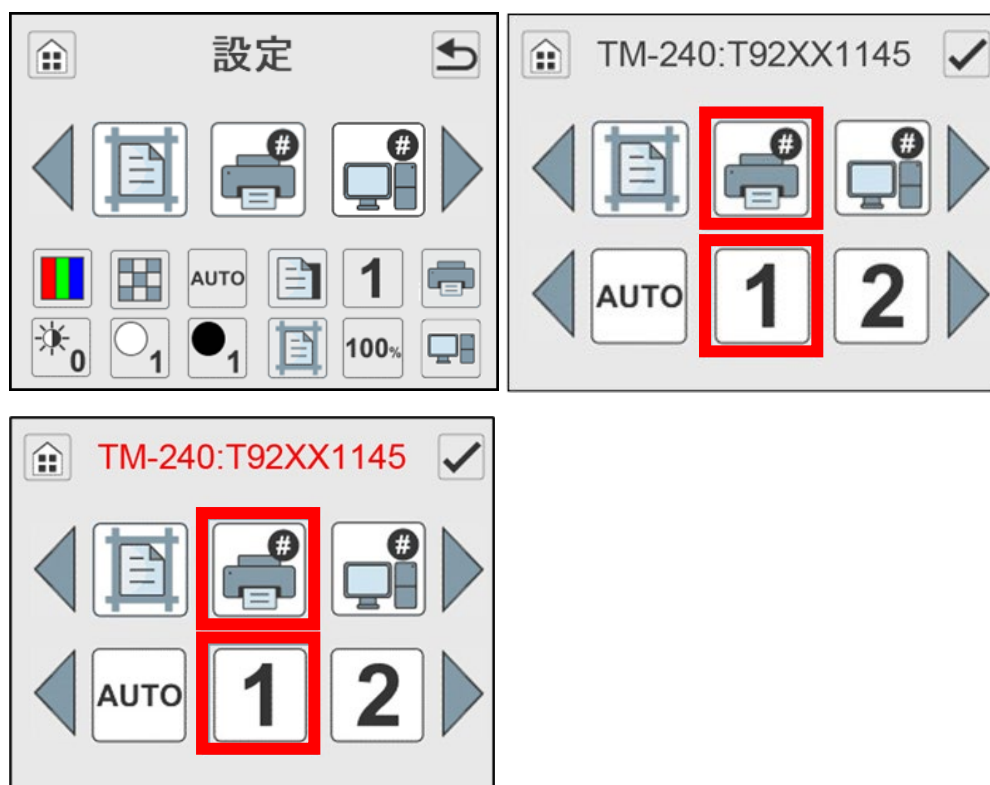


- ホーム画面から「コピー」のアイコンをタッチします。



コピーに使用されるプリンターは「コピー」のページに表示されています。プリンター検索で「AUTO」が選択されている場合、スキャナーが利用可能なプリンターを自動検索し、ユーザーがコピー出力したいプリンターをスキャン毎に選択できます。

- プリンターナンバーを変更したいときはコピーの設定を選択し、プリンター#までスクロールしてアイコンをタッチします。プリンターに設定したいナンバーを選択し、クリックします。



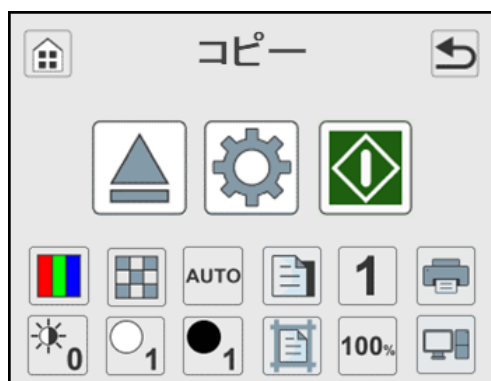
注記：設定されたプリンターのシリアルナンバーが画面の上に表示されます。赤で表示された場合、そのプリンターは現在使用できないことを示しています。ネットワーク上のプリンターの情報が変更された場合には、上記のプリンター設定の画面を閉じ、再度開くと更新されます。



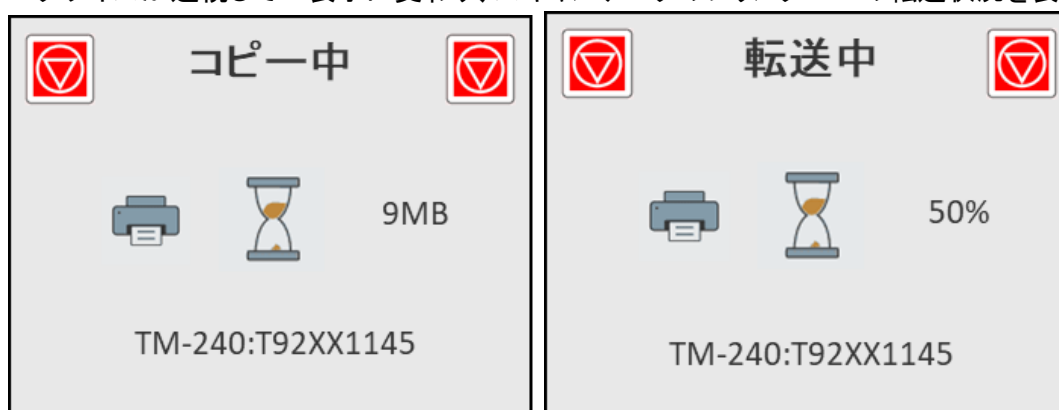
- スキャナーの設定メニューに現在の設定をデフォルトの設定として保存します。

詳しくは[お好みの設定をデフォルトとして保存する \(64 ページ\)](#)を参照してください。

- その他変更したい設定があれば各種画面で行ってください。
 デフォルトの設定を使用する場合 :カラーモード、標準解像度、自動サイズ、原稿縦置き、
 コピー部数 1、プリンターX、明るさ=0、白ポイント=1、黒ポイント=1、枠のトリミング=オフ、
 コピー倍率 100%、PCX。



- 
 緑の開始アイコンを押します。
- 
 赤の中止アイコンでコピー を中止します。
- スキャンデータは一時的に内蔵メモリーに保存されます。スキャン中は画像のデータサイズを MB で表示します。スキャン完了後にスキャンデータをプリンターに転送します。MB で表示されていたデータサイズが連続して%表示に変わり、スキャンデータのプリンターへの転送状況を表示します。



- プリンターから出力されたコピーを確認します。



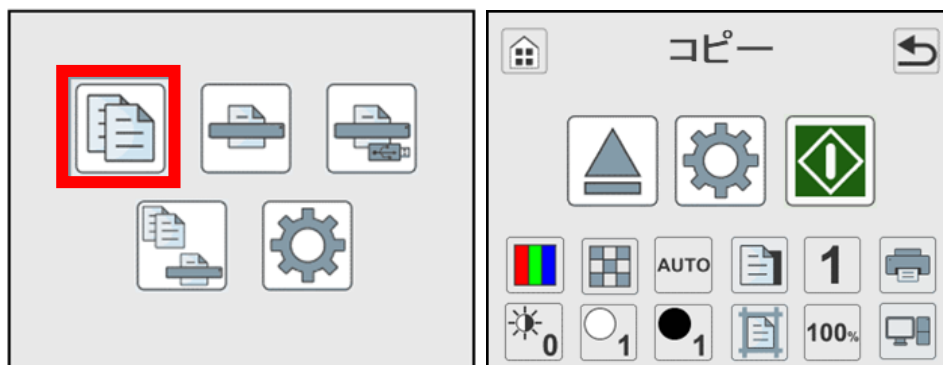
コピー（拡張モードの場合）



- 拡張モード：スキャンデータは PC に直接転送され、すぐに次のスキャンができる状態になります。Scan アプリがプリントデータをプリンターに送信します。詳しくは[スキャナーのネットワークモードを設定する\(19 ページ\)](#)を参照してください。
- プリンターがネットワークに接続されていて、プリントできる状態であることを確認します。原稿を上向きにして原稿の中心がスキャナーの中心に合うようにセットします。
自動サイズでスキャンする場合、おおよそ中心に合わせることで正しくスキャンできます。

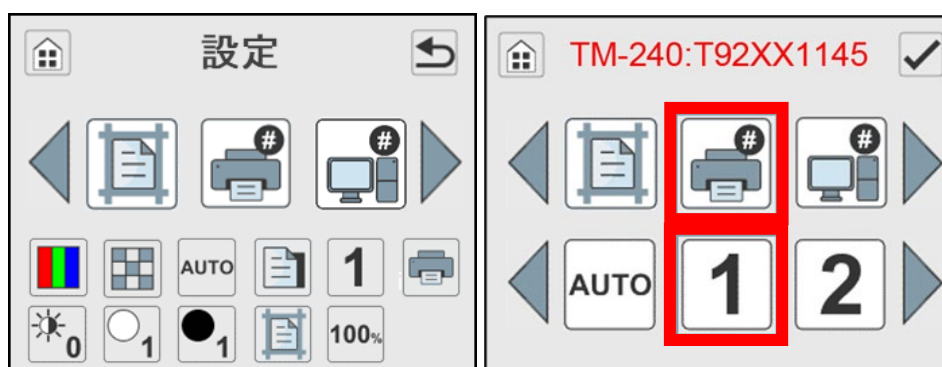


- ホーム画面で「コピー」をタッチします。



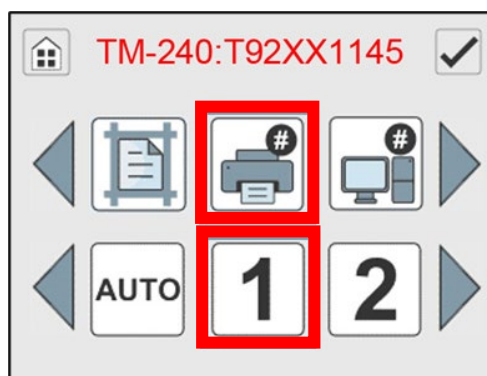
使用されるプリンターが「コピー」の画面に表示されます。プリンター検索が「AUTO」になっている時には、スキャナーはスキャンを開始する前にプリンターの自動検出を行い検出されたプリンターを表示します。出力先のプリンターを選択するとコピー出力を開始します。

- プリンターナンバーを変更したいときは「コピーの設定」を選択し、プリンター#までスクロールしてアイコンをタッチします。プリンターに設定したいナンバーを選択し、タッチします。



注記：設定されたプリンターのシリアルナンバーが画面上に表示されます。赤で表示された場合、そのプリンターは現在使用できないことを示しています。この接続に関する情報はネットワー

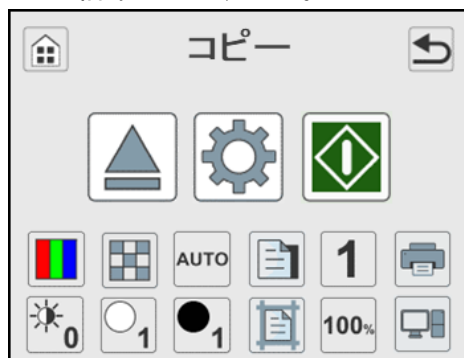
上のプリンターの情報が変更された場合には、プリンター設定の画面を閉じ、再度開くと更新されます。



- スキャナーの設定メニューに現在の設定をデフォルトの設定として保存します。

詳しくは[お好みの設定をデフォルトとして保存する \(64 ページ\)](#)を参照してください。

- その他変更したい設定があれば各種画面で行ってください。
デフォルトの設定を使用する場合：カラーモード、標準解像度、自動サイズ、原稿縦置き、コピー部数 1、プリンターX、明るさ=0、白ポイント=1、黒ポイント=1、 枠のトリミング=オフ、コピー倍率 100%、PCX。



- 開始アイコンをタッチします。

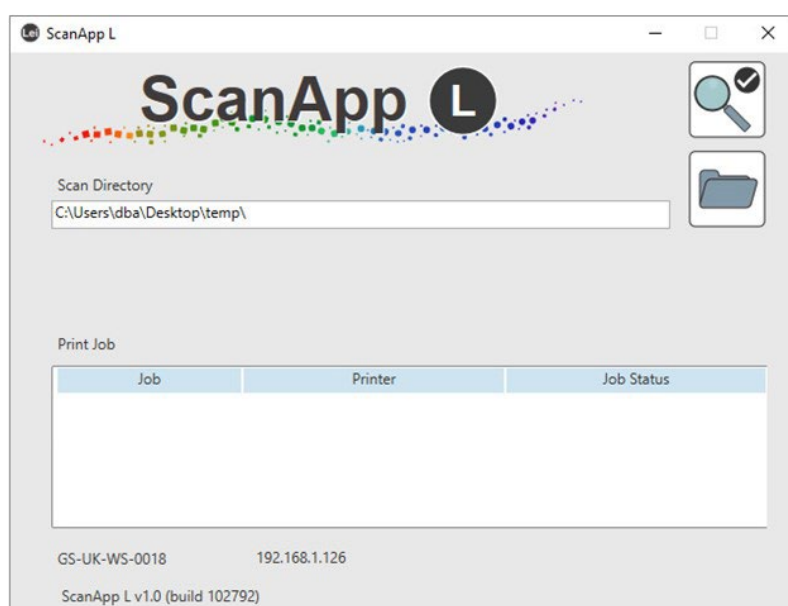


- 赤の中止アイコンでコピー を中止します。

- スキャンしたデータは、直接ネットワーク上の PC の Scan アプリ L に転送されます。スキャンしたデータの転送中、転送済のデータサイズを MB で表示します。PC へのスキャンデータの転送が完了すると砂時計のマークが消え、次のスキャンを行うことができます。



- 拡張モードを設定していない場合、またはオフラインの場合、自動的に Scan アプリ L 標準モードでコピーを行います。
- Scan アプリ L がプリンターに送信するスキャンデータを一時的にスプールします。一時的にスプールされている間、Scan アプリ L に出力するデータ名が表示されます。スプールしたデータのプリンターへの転送が完了すると、Scan アプリ L の画面からデータ名が消えます。



プリンターから出力されたコピーを確認します。



コピー＆アーカイブ

- スキャンデータは PC に直接転送され、すぐに次のスキャンができる状態になります。Scan アプリ L がプリントデータをプリンターに送信し、同時にスキャンファイルを保存します。
- スキャンファイルを送信したい PC 上で Scan アプリ L が起動していることを確認して下さい。詳しくは [Scan アプリ L の操作 \(27 ページ\)](#) を参照してください。
- プリンターがネットワークに接続されていて、プリントできる状態であることを確認します。原稿を上向きにして原稿の中心がスキャナーの中心に合うようにセットします。
自動サイズでスキャンする場合、おおよそ中心に合わせることで正しくスキャンできます。

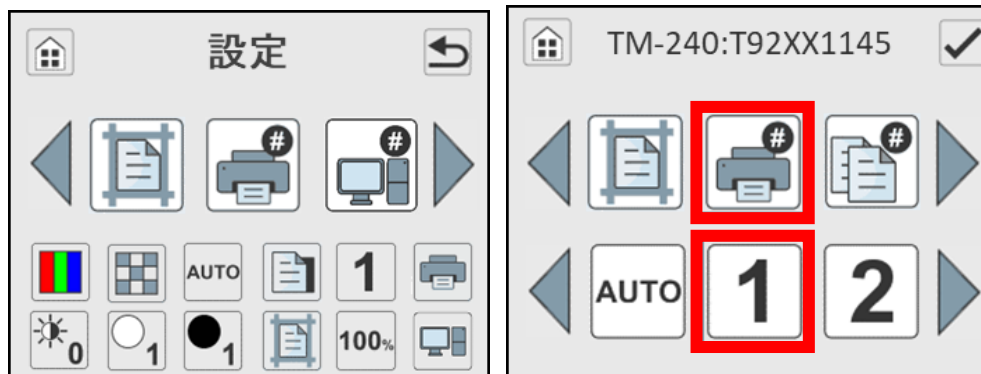


- ホーム画面から「コピー＆アーカイブ」をタッチします。

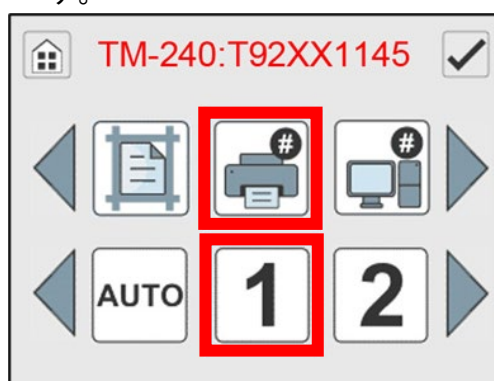


- 使用されるプリンターが「コピー＆アーカイブ」のページに表示されます。プリンター検索「AUTO」が選択されている場合、スキャナーはスキャンを開始する前にプリンターの自動検索を行い、利用可能なプリンターの一覧を表示します。出力先のプリンターを選択してください。PC 検索が「AUTO」が選択されている場合、スキャナーはスキャンを開始する前に PC の自動検索を行います。データの保存先の PC を選択してください。

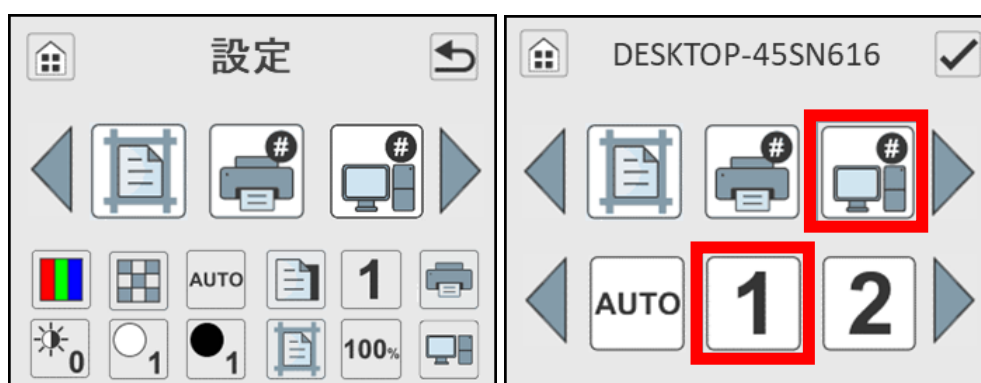
- プリンターナンバーを変更したいときは「コピー & アーカイブ」の設定を選択し、プリンター#までスクロールしてアイコンをタッチします。プリンターに設定したいナンバーを選択し、タッチします。



注記：設定されたプリンターのシリアルナンバーが画面の上に表示されます。赤で表示された場合、そのプリンターは現在使用できないことを示しています。ネットワーク上の PC などの変更された情報は、スキャナーの PC 選択画面をいったん閉じ、再度同じ画面を立ち上げると反映されます。



- PC ナンバーを変更したいときは「スキャン to PC」の設定を選択し、PC#までスクロールしてアイコンをタッチします。PC に設定したいナンバーを選択し、タッチします。



注記：選択された PC 名が画面の上に表示されます。赤で表示された場合、その PC の電源が入っていないか、または Scan アプリ L が起動していないことを示します。Scan アプリ L のメニューを開くたびにこの接続のステータスが更新されます。



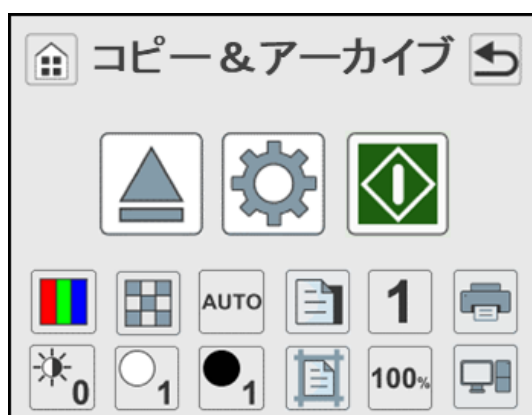
- 「コピー＆アーカイブ」をタッチし、ファイル形式を選択します。
(PDF、JPEG、M-PDF (マルチページ PDF))



スキャナーの設定メニューに現在の設定をデフォルトの設定として保存します。

詳しくは[お好みの設定をデフォルトとして保存する \(64 ページ\)](#)を参照してください。

- その他変更したい設定があれば各種画面で行ってください。
デフォルトの設定を使用する場合：カラーモード、標準解像度、自動サイズ、原稿縦置き、
コピー部数 1、プリンターX、明るさ=0、白ポイント=1、黒ポイント=1、 枠のトリミング=オフ、
コピー倍率 100%、PCX。



- 緑の開始アイコンをタッチします。

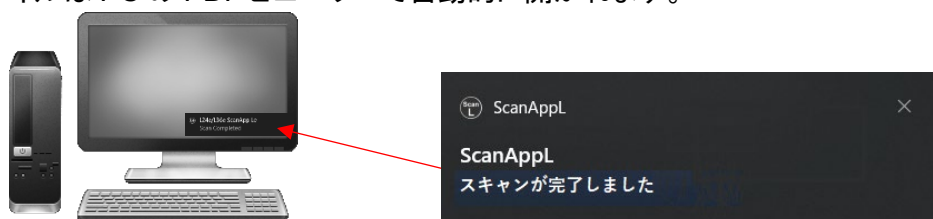


- 赤の中止アイコンでスキャンを中止します。

- 原稿がスキャンされ、スキャナーから排紙されます。スキャンデータはイーサネットを經由し、Scan アプリ L に送られます。転送中、転送済みのデータサイズを MB で表示します。拡張 PC へのデータ転送が完了すると砂時計のマークが消え、次のスキャンを行います。



- Scan アプリ L がスキャンデータを受信したことを示します。アプリで設定したスキャンディレクトリーにスキャンファイルが保存されます。画像ビューワーでファイルを開き、画像を確認します。PDF ファイルは PC の PDF ビューワーで自動的に開かれます。



日付と時間の数値でスキャンファイルに下記の様にファイル名が付けられます。
 YYYY-M-D-H-M-S
 2017-8-3-15-11-1

- Scan アプリ L がプリンターへのスキャンデータを一時保存し、その後プリンターに転送します。
- プリンターから出力されたコピーを確認します。



スキャナーを使用する <各種機能設定>

- スキャナーの操作画面で機能を選択します。



コピー



スキャン to PC



スキャン to USB



コピー & アーカイブ (コピーと PC への保存が一回の操作で行えます。)

- それぞれの機能の画面で「設定」をタッチし、必要に応じて設定の変更を行います。
(設定の内容はそれぞれの機能で異なります。)



- 左右のアイコンでスクロールし、設定を選択します。



- ホーム画面に戻ります。機能設定メニューからホームをタッチすると設定に行ったすべての変更がキャンセルされます。



- 変更を保存し、一つ前の画面に戻ります。

- コピー枚数 (コピー、コピー & アーカイブ機能のみ)



デフォルト= 1



- ファイル形式の選択 (スキャン to PC、スキャン to USB のみ)



デフォルト = PDF



M-PDF (マルチページ PDF)



原稿をスキャンし続け、ドキュメントに複数のページを追加できます。
 すべてのページをスキャンした後、中止アイコンをタッチしてファイルを閉じます。



- カラーモード



デフォルト = カラー



カラー



グレースケール



モノクロ

- 画質モード



デフォルト = 標準



標準



きれい

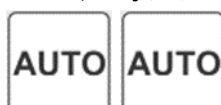


最高

- オリジナルの原稿サイズ



デフォルト = 自動サイズ

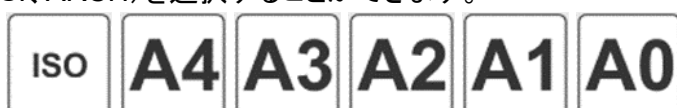


自動サイズ: 原稿がスキャナーにセットされると自動でサイズを検出します。



幅をスキャナーで読み取れる最大幅(24 インチ、または 36 インチ)に固定します。長さは自動で検出されます。

またはオリジナルの原稿サイズに関係なく用紙サイズ選択のアイコンの中から定型サイズ(ISO、ANSI、ARCH)を選択することができます。



ISO サイズ



ANSI サイズ



ARCH サイズ

ISO	サイズ	ANSI	サイズ	ARCH	サイズ
A0	841mm x 1189mm	E	34in x 44 in	ARCH E	36inx 48in
A1	841mm x 594mm	D	34in x 22 in	ARCH D	36in x 24in
A2	594mm x 420mm	C	22in x 17 in	ARCH C	24in x 18in
A3	297mm x 420mm	B	17in x 11in	ARCH B	18in x 12in
A4	297mm x 210mm	A	11in x 8.5in	ARCH A	12in x 9in

- 原稿の向き (定型サイズ選択時のみに設定可能)



(デフォルト = 縦置き)



縦置き



横置き

- コピー倍率（コピー、コピー & アーカイブ機能選択時のみ設定可能）



デフォルト = 100%



パーセントでコピーサイズを設定します。

25%

35%

50%

71%

縮小

100%

等倍

141%

200%

283%

287%

400%

432%

拡大

ISO

ISO 定型サイズを選択してコピーサイズを設定します。

入力サイズ =

A4

A3

A2

A1

A0

出力サイズ =

A4

A3

A2

A1

A0

ANSI

ANSI 定型サイズを選択してコピーサイズを設定します。

入力サイズ =

A

B

C

D

E

出力サイズ =

A

B

C

D

E

ARCH

ARCH 定型サイズを選択してコピーサイズを設定します。

入力サイズ =

A

B

C

D

E

出力サイズ =

A

B

C

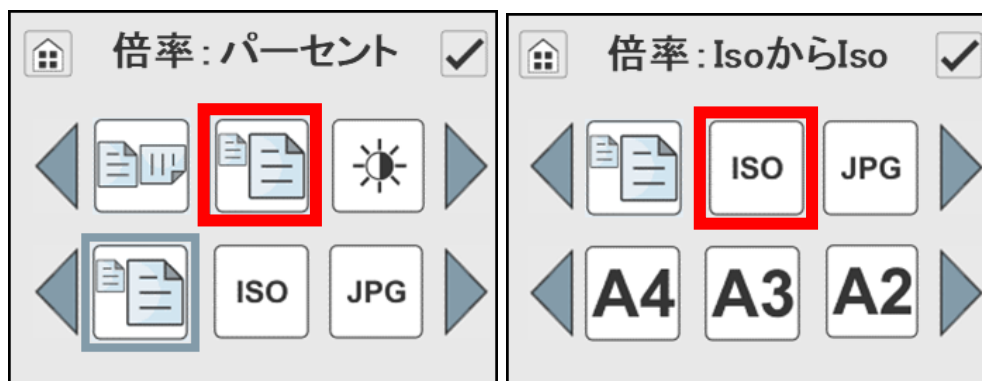
D

E

コピー倍率の例：(例:A4 の原稿を A3 でコピー)

原稿サイズの設定方法を決めます: ISO / ANSI / ARCH

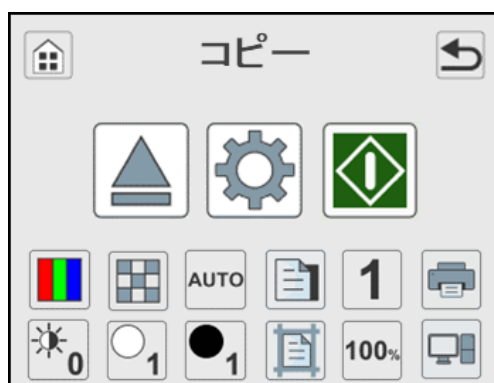
ISO を指定すると上段に ISO の設定が移動します。次に下段に入力側のメニューが表示されます。原稿の入力サイズ ISOA4 を選択すると上段に入力サイズが移動します。



次に下段側の出力サイズ ISOA3 を選択します。上段に入力サイズ、下段に出力サイズが選択されている状態で、確定アイコン ☒ をクリックして確定します。



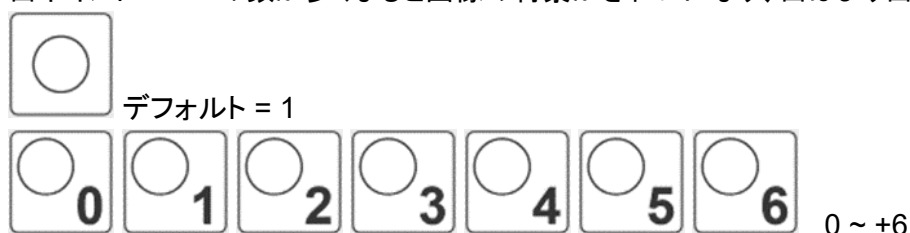
コピーのメイン画面に戻ると前のページで設定したコピー倍率がパーセントで表示されます。(ここでは A4 から A3 にコピーサイズを変更したので 141% のパーセント表示がされています)



- 明るさ：バーの数が多くなると明るくなり、少なくなると暗くなります。



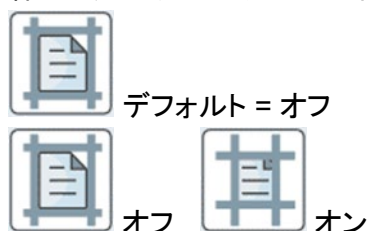
- 白ポイント：バーの数が多くなると画像の背景がきれいになり、白はより白くなります。



- 黒ポイント：バーの数が多くなると画像の暗い部分がより暗くなります。黒はより黒くなります。



- 枠のトリミング：スキャンした画像の四方 3mm の余白をトリミングします。



- プリンターナンバー (コピー、コピー & アーカイブ機能選択時のみ)
コピーを出力したいプリンターを選択します。



デフォルト = プリンターX 自動でプリンターを検索し、使用するプリンタープリンターを選択します。



拡張ネットワークモードを使用する PC



- PC ナンバー（スキャン to PC、コピー & アーカイブ機能選択時のみ）
スキャン画像を保存したい PC の選択



デフォルト = PCX

スキャン to PC 毎に自動で PC を検索し、使用する PC を選択します。



お好みの設定をデフォルトとして保存する

- 現在の設定をデフォルトとして保存することができます。
デフォルトとして設定できる項目：コピー枚数、ファイル形式、カラーモード、スキャン品質、原稿サイズ、原稿の向き、コピー倍率、明るさ、黒ポイント、白ポイント、枠のトリミング、プリンターX、PCX。
- スキャナーの操作画面のホーム画面で「設定」のアイコンを選択します。



「設定をフォルダーに保存する」のアイコンをタッチし、OK を押します。正しく保存されるとチェックマークが表示されます。



現在の設定をデフォルトとして保存する



保存済み

「工場出荷時の設定に戻す」のアイコンをクリックし、OK を押すと現在の設定を工場出荷時のデフォルトに戻すことができます。



工場出荷時の設定に戻す



保存済み

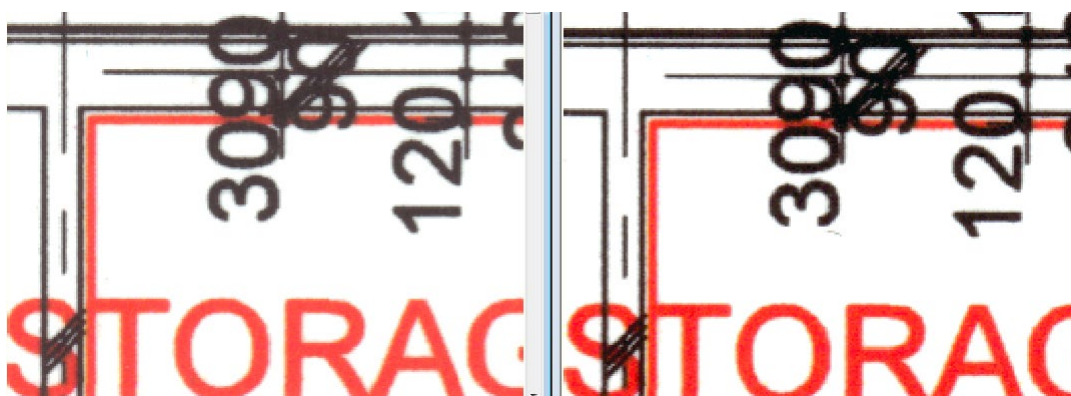
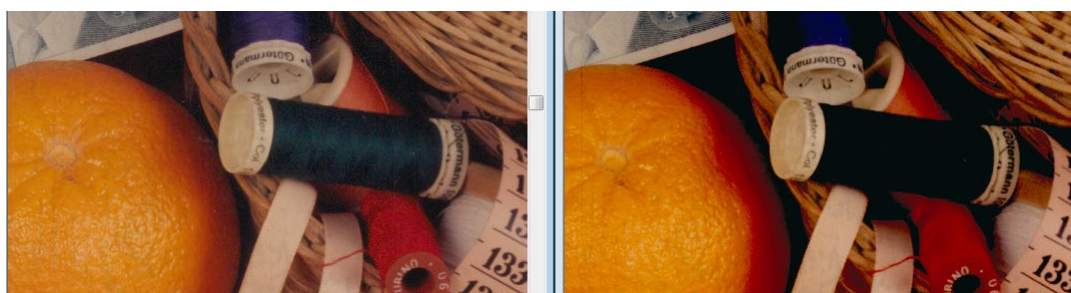
スキャナーをより効果的にお使いいただくために

巻き癖がきつい原稿

- 巻き癖がある原稿はスキャンする前にしっかりと伸ばしてください。
- 排紙された原稿が回り込んで再度スキャナーに入ることがないように、原稿を支えながらスキャンします。再度スキャナーに入ってしまった場合、紙詰まりを起こす可能性があります。原稿を破損する恐れがありますので十分に気を付けてください。
- 貴重な原稿は保護しながら搬送するキャリアシート(別売オプション)に挟んでスキャンする事を推奨します。

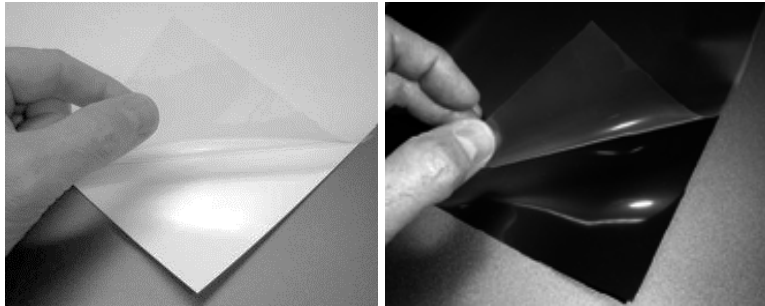
設定の目安

色の精度が重要な写真などの 原稿のスキャン	グラフィックスや線画など くっきりとした線や色を再現したい
白ポイント = 0、黒ポイント = 0	白ポイント = 1、黒ポイント = 1



破損しやすい原稿をスキャンする（キャリアシートの使用）

- 原稿の淵や折り目が破れた原稿、貴重な原稿、あるいは和紙などの原稿（腰の弱い原稿）は原稿を保護しながら搬送するキャリアシート（別売オプション）に挟んでスキャンする事を推奨します。

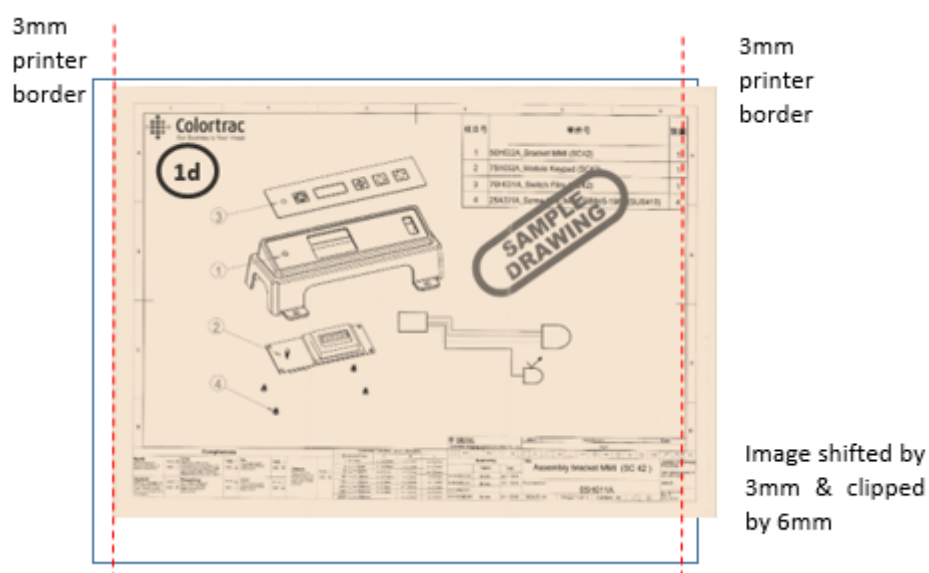


- キャリアシートは次のような原稿をスキャンする時にも有効です。
 - フィルムなど透明な原稿をスキャンする時に起きる光の反射を抑え、質の良い画像を得るのに役立ちます。
 - 光沢紙などつるつるした表面の原稿に傷がつくのを防ぎます。
 - スキャナーに挿入しにくい形の原稿、破れている原稿、また複数の原稿を一つの原稿としてスキャンする場合などキャリアシートに挟んでスキャンすることを推奨します。
 - 汚れている原稿などはキャリアシートに挟んでスキャンすることでスキャナーのガラスが汚れるのを防ぎます。
 - 両面に印刷されている原稿は、裏写りを軽減させるため、裏地が黒いキャリアシート（別売オプション）を使用してスキャンすることを推奨します。
 - ガラスプレート、ゴムローラーなどに汚れを生じる可能性のある原稿をスキャンする時にスキャナーへの汚れと原稿に傷がつくのを防ぎます。
 - ①鉛筆などでの手書き原稿、鉛筆プロッターなどによる図面原稿
 - ②トレーシングペーパーなどの静電気を起こし易い原稿
 - ③インクなどが乾いていない原稿
- キャリアシートの価格等は販売店にご確認ください。

注記：キャリアシートを使用する場合には、ペーパーリターンガイドを取り外してください。

コピー時に画像の端が切り取られるのを防ぐ

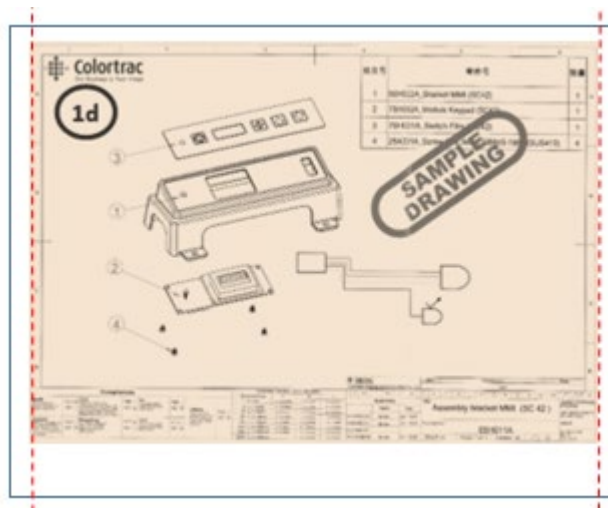
- 594mm 幅の原稿を A1 の定型サイズでスキャンすると画像は 594mm 幅になります。
- プリンターは両サイドに 3mm の余白があり、そこにプリントすることができません。594mm 幅のロール紙には両端 3mm を除いた 588mm 幅の画像しかプリントすることができません。そのため、594mm 幅の原稿を 588mm 幅でプリントする場合、画像が右側に 3mm 寄ることになり、原稿の右側 6mm 幅 (3mm x 2) のデータが切り取られてしまいます。



- 「枠のトリミング」をオンにすることでプリントする前にスキャン画像の四方の 3mm の余白をトリミングし、画像を正しい位置に配置してプリントします。

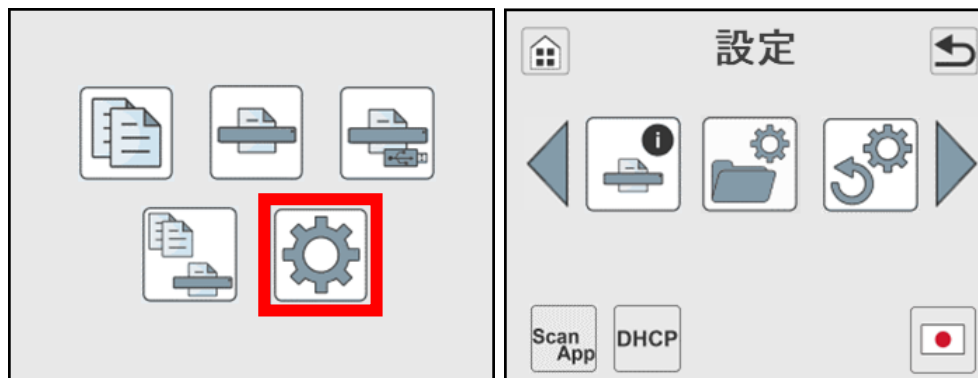


「枠のトリミング」オン

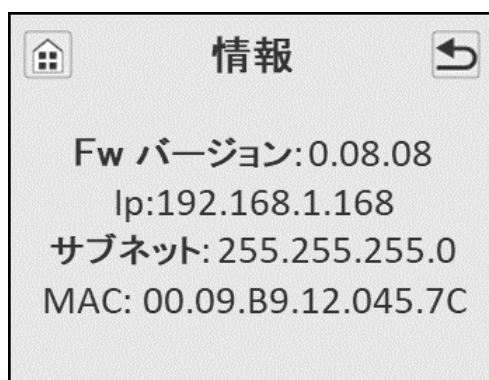


スキャナーの設定

- ホーム画面より「設定」のアイコンをタッチします。



- 左右アイコンでスクロールし、変更したい設定を選択し、数値を変更します。
- 情報:** スキャナーの情報を表示します。
この画面では数値を変更することができません。情報の表示のみになります。



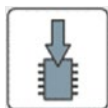
- 保存:** 現在の設定をデフォルト設定として保存します。
詳しくは[お好みの設定をデフォルトとして保存する](#) (64 ページ)を参照してください。



- リセット:** 工場出荷時の設定に戻します。
詳しくは[お好みの設定をデフォルトとして保存する](#) (64 ページ)を参照してください。



- **Fw 更新:** ファームウェアを更新します。
 詳しくは [ファームウェアを更新する](#) (79 ページ) を参照してください。



- **キャリブレーション:** スキャナーのキャリブレーションを実行します。
 詳しくは [キャリブレーション](#) (73 ページ) を参照してください。



- **ステッチの調整:** ステッチの調整を実行します。
 詳しくは [ステッチの調整](#) (75 ページ) を参照してください。



- **距離補正:** スキャン長さを補正します。
 詳しくは [スキャン長さの調整 \(自動\)](#) (77 ページ) を参照してください。



- **モード:** 標準 / 拡張モード を選択します。
 詳しくは [スキャナーのネットワークモードを設定する](#) (19 ページ) を参照してください。



-  拡張モード (英語を使用言語と設定した場合のデフォルト設定)
-  標準モード (日本語を使用言語と設定した場合のデフォルト設定)

- **プリンター設定:** コピー出力したいプリンターにナンバーを付けます。



利用可能なプリンターを自動検索します。



ナンバーを付けます。

詳しくは [プリンターにプリンターナンバーを割り付ける](#) (31 ページ) を参照してください。

- **Pc 設定** : スキャン to PC を行う際に使用する PC に PC ナンバーを付けます。



自動で使用可能な PC を検索し、PC ナンバーを設定します。



PC ナンバーを設定します。

詳しくは [PC に PC ナンバーを割り付ける](#) (34 ページ) を参照してください。

- **スキャナーIp**: スキャナーのネットワークを設定します。
 詳しくは [スキャナーをネットワークに接続する](#) (21 ページ) を参照してください。



- 自動 IP アドレスの設定

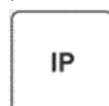


DHCP

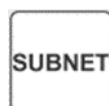
- マニュアルでの IP アドレスの設定



固定 IP アドレス



IP アドレス

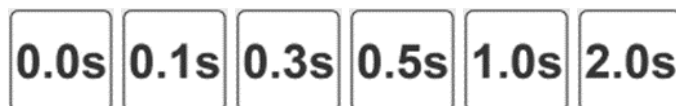


サブネットマスク

- **原稿取込み時間**: スキャナーに原稿が挿入されてからモーターが原稿をスキャナーに取り込み開始するまでの時間を設定します。



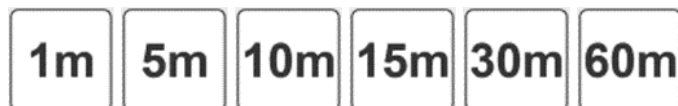
デフォルト = 1.0s (秒)



- **省電力タイマー**: 一定時間スキャナーを使用しないとスキャナーは省電力モードになります。省電力モードに入るまでの時間を設定します。



デフォルト = 15m(分)



- **言語**: 使用する言語を設定します。
詳しくは[言語の設定](#) (18 ページ) を参照してください。



○  日本語 (標準ネットワークモード)

○  英語 (拡張ネットワークモード)

- **パスワードを入力**: サービス時のエンジニアメニューとして使用します。(パスワードが必要です)



スキャナーの設定を保存する

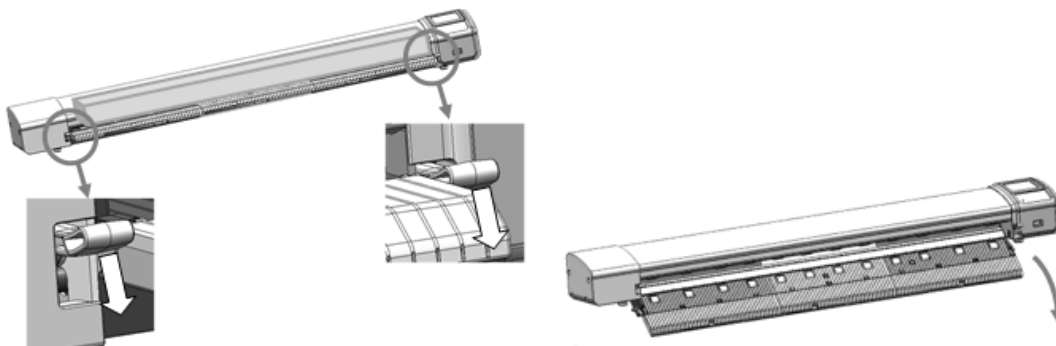
スキャナー再起動後も設定内容は残ります。

ファームウェア、キャリブレーション、ステッチ調整、スキャン長さ、Scan アプリモード、設定したプリンターナンバー、設定した PC ナンバー、スキャナーネットワークの設定、使用言語、スキャンやコピーの数、スキャン長さ、エラーログ。

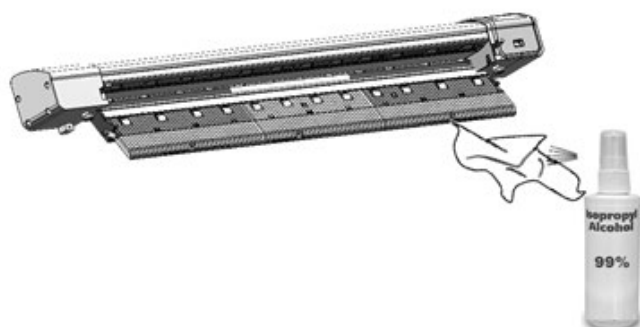
スキャナーのメンテナンス

スキャナーのクリーニング

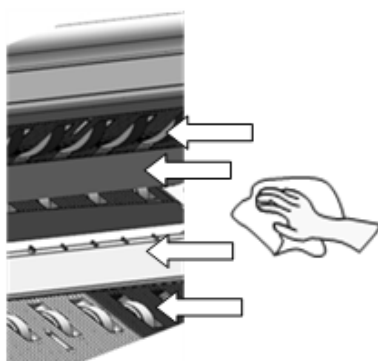
- 両端のトレイレバーを押し下げてスキャナーを開きます。



- OA クリーナー、アルコール(イソプロピルアルコール)などのクリーナーを清潔で糸クズのでない布に吹き付けます。スキャナーに直接クリーナーを吹き付けしないでください。



- 布で下記の箇所をクリーニングします。



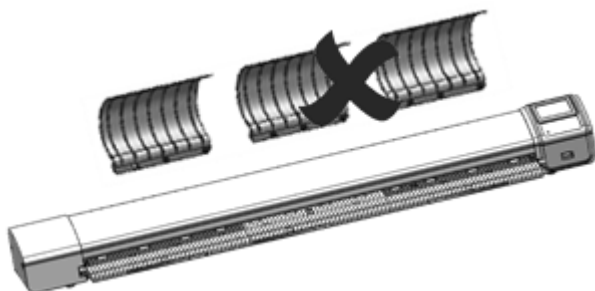
- 上部ドライブローラー
- スキャンガラス
- ホールドアッププレート
- 下部ローラー(手でローラーを回し、ローラー全体をきれいにします。)

消耗品

- 消耗する部品・紛失しやすい部品をオプション品として扱っています。
 下記はスキャナーのオプション品です。販売店よりお求めいただけます。
 - キャリブレーション/ステッチシート、原稿ガイド、タッチペン、ペンホルダー

キャリブレーション

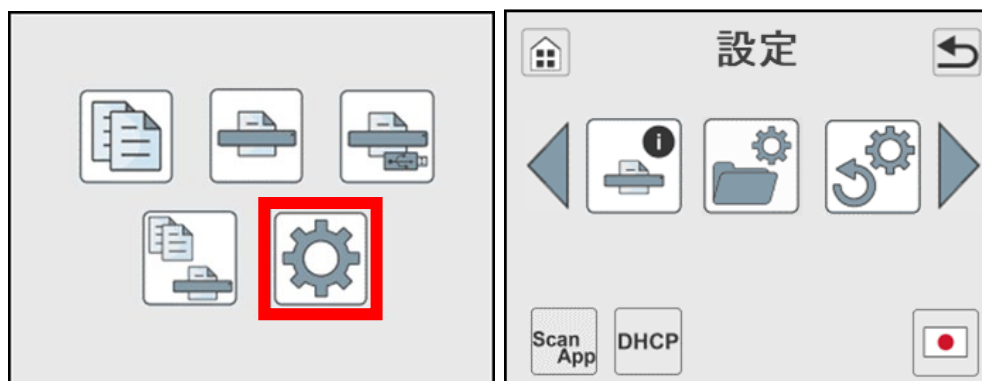
- キャリブレーション実施の際は、必ずペーパーリターンガイドを取り外してください。(ペーパーリターンガイドが取り付けられた状態でキャリブレーションを実施すると、キャリブレーションシートが破損することがあります)



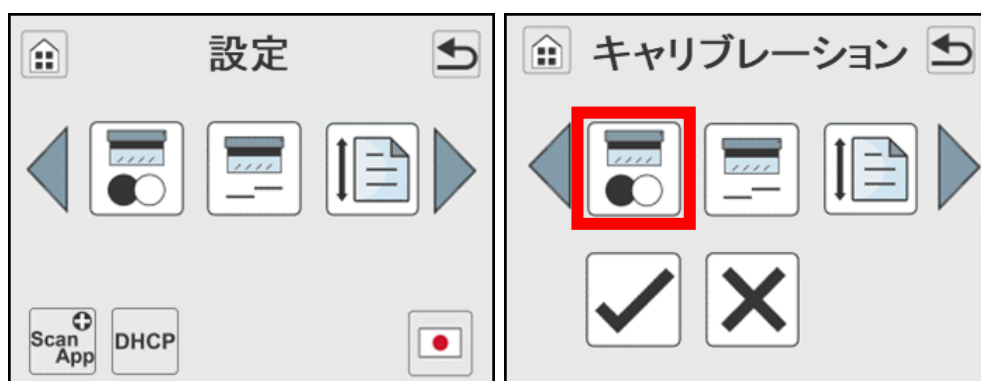
- ガラスとローラーをきれいに清掃します。(汚れ等がついていないか確認して下さい)
- キャリブレーションシートがきれいで傷や破損がないことを確認して下さい。白と黒の面を上にして黒い側からスキャナーに挿入します。シートはスキャナーのペーパートレイの中央に合わせてセットして下さい。



- ホーム画面で「スキャナーの設定」ボタンを選択します。



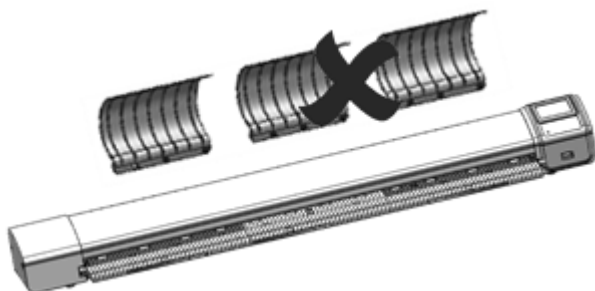
- 左右のアイコンでスクロールし、「キャリブレーション」を選択します。



- 「チェック」アイコンをタッチするとキャリブレーションが開始されます。キャリブレーションシートは数回スキャナーの中を前方または後方に搬送されます。スキャナーの操作画面がホーム画面に戻るまでお待ちください。ステッチ調整は数分で終了します。その後シートを取り出し、大切に保管してください。
- 注記：キャリブレーションシートが上記の説明のように正しい方法でスキャナーにセットされないとキャリブレーションを実行しません。

ステッチの調整

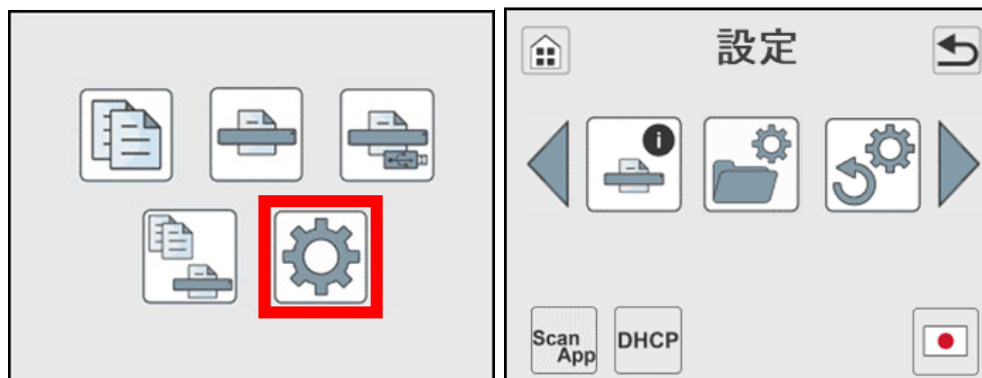
- ステッチ調整を実施する場合は、必ずペーパーリターンガイドを取り外してください。（ペーパーリターンガイドが取り付けられた状態でステッチ調整を実施すると、キャリブレーションシートが破損することがあります）



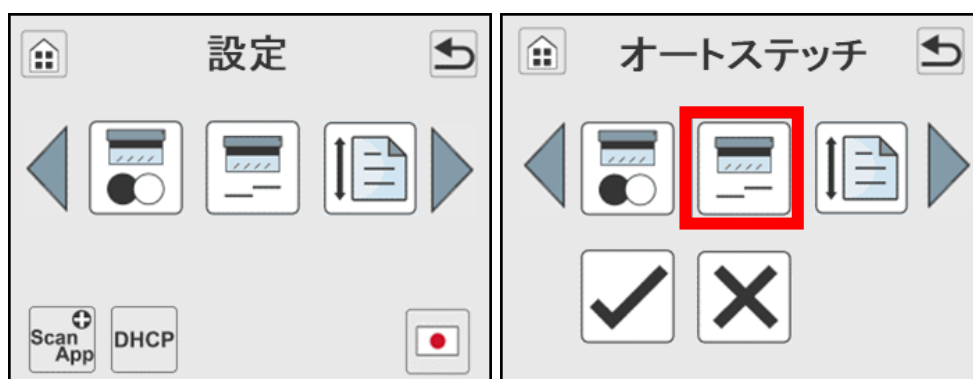
- ガラスとローラーをきれいに清掃します。（汚れ等がついていないか確認して下さい。）
- キャリブレーションシートがきれいで傷や破損がないことを確認して下さい。白と黒の面を上にして黒い側からスキャナーに挿入します。シートはスキャナーのペーパートレイの中央に合わせてセットして下さい。



- ホーム画面で「スキャナーの設定」ボタンをタッチします。



- 左右アイコンでスクロールし、「ステッチ調整」を選択します。



- 「チェック」アイコンをタッチするとステッチ調整が開始されます。キャリブレーションシートは数回スキャナーの中を前方または後方に搬送されます。スキャナーの操作画面がホーム画面に戻るまでお待ちください。ステッチ調整は数分で終了します。その後シートを取り出し、大切に保管してください。
- 注記：キャリブレーションシートが上記の説明のように正しい方法でスキャナーにセットされないとステッチ調整を実行しません。

スキャン長さの調整(自動)

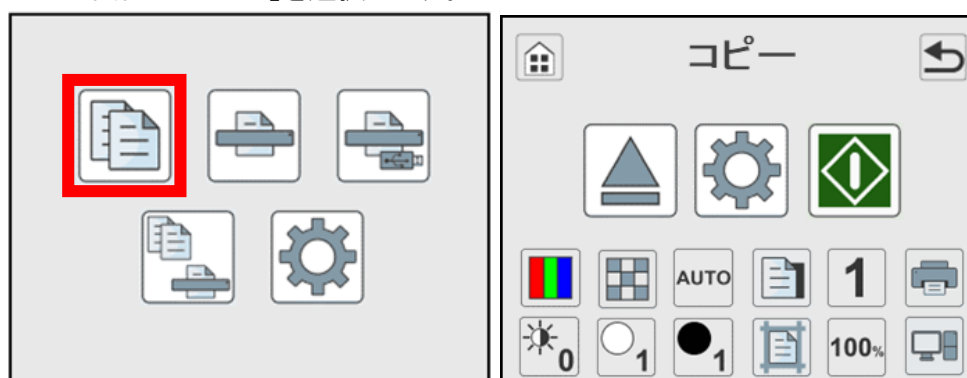
- ステッチ調整を行うと自動的にスキャン長さも調整されます。

スキャン長さの調整

- スキャン、またはコピーの長さを調整します。原稿をコピーしてオリジナルとコピー両方の図枠の長さを測ります。コピー図枠の長さはオリジナルの図枠の長さの $\pm 0.2\%$ が許容範囲となります。例えばオリジナル図枠の長さが 500mm の場合、コピー図枠の長さが 499mm から 501mm までの長さであれば許容範囲となります。もしこの範囲にならない場合は下記の様に調整します。
 - スキャナーの中央と原稿の中央を合わせてスキャンする面を上向きにしてセットします。自動サイズ機能を使用するので原稿を必ずしも正確な場所に配置する必要はありません。原稿をコピーし、オリジナルとコピー両方の図枠の長さを測ります。



- ホーム画面で「コピー」を選択します。



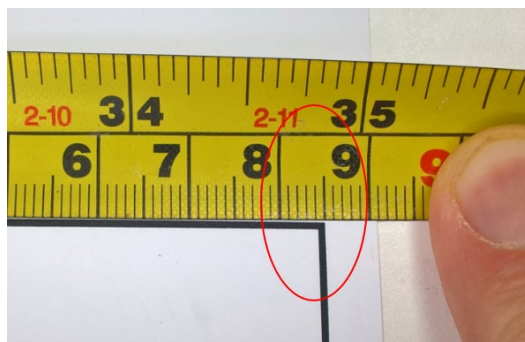
- デフォルトの設定を使います：カラーモード、標準解像度、自動サイズ、原稿縦置き、コピー部数 1、プリンターX、明るさ=0、白ポイント=1、黒ポイント=1、枠のトリミング=オフ、コピー倍率 100%、PCX。
- コピーを開始します。
- スキャナーがプリンターにスキャンデータを転送します。PC にスキャンデータが転送されるのを待ちます。完了すると砂時計が消えて原稿がスキャナーから排紙されます。プリンターから出力されたコピーを確認します。

- オリジナルとコピーの両方の図枠を測ります。
オリジナルの図枠の長さをコピーの図枠長さで割って調整値を算出します。

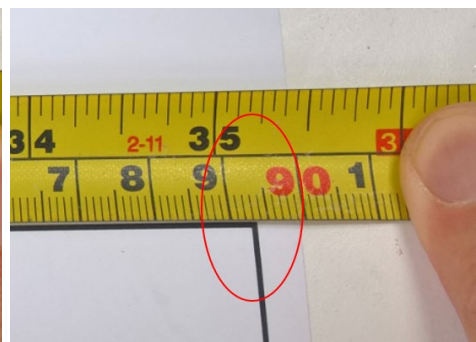
○

$$\text{調整値} = \frac{\text{オリジナルの図枠の長さ}}{\text{コピーの図枠の長さ}} = \frac{885\text{mm}}{893\text{mm}} = 0.9910$$

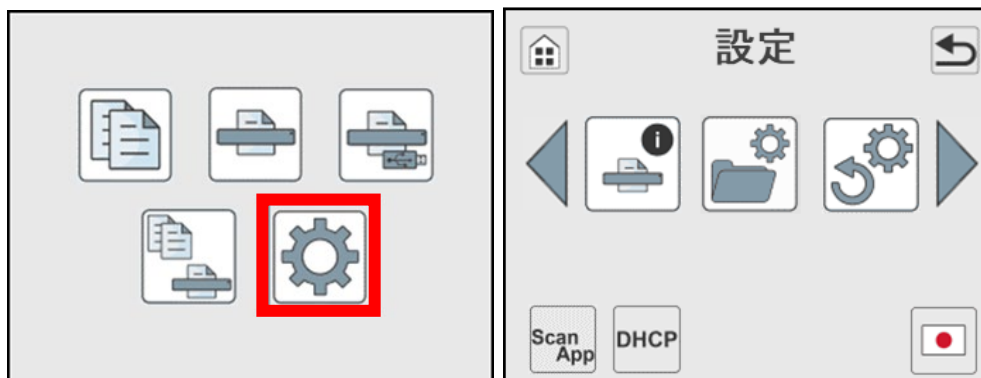
オリジナル



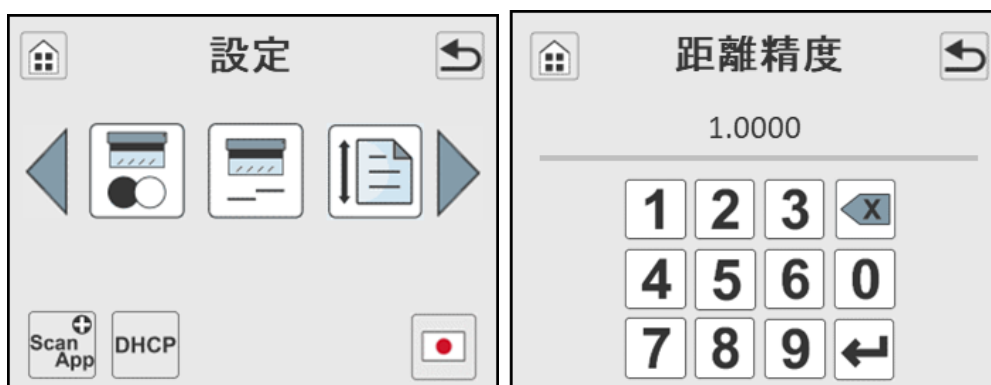
コピー



- ホーム画面で「スキャナーの設定」ボタンを選択します。



- 左右アイコンでスクロールし、「スキャン長さの調整」のアイコンをタッチします。



- 「削除」キーで現在の数値を削除し、新たに調整した数値(0.9910)を入力します。
エンターキーをタッチして設定を保存します。

ファームウェアを更新する

- キヤノンのホームページから最新のファームウェア(zip ファイル)をダウンロードします。USB メモリーは FAT32 フォーマットで最大容量は 128GB を超えないものを使用してください。ダウンロードしたファームウェアは、圧縮されていますので、解凍してから USB メモリーに保存します。(Windows os のみ対応)



LmFW5-X

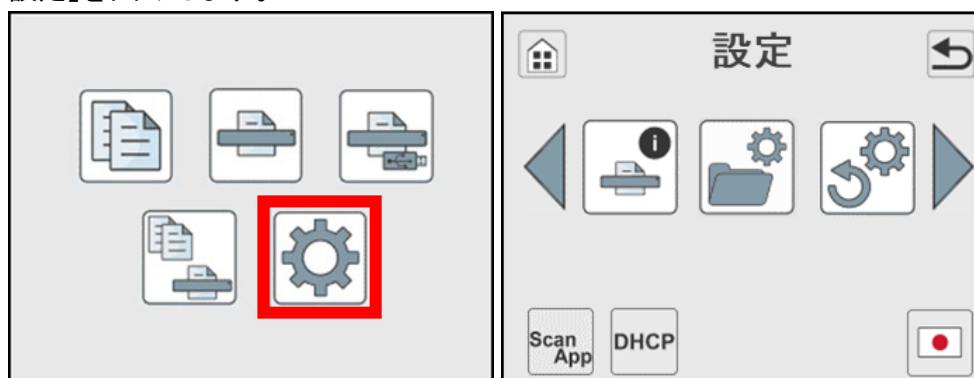
- USB メモリーのルートに以下のファイルがあることを確認してください。

USB Drive (D:)	
☐ Name ^	Type
 gamma.tab	TAB File
 L3UPDATE.INI	Configuration settings
 LsRGB.tab	TAB File
 P110-3.spi	SPI File
 SDB.bin	BIN File

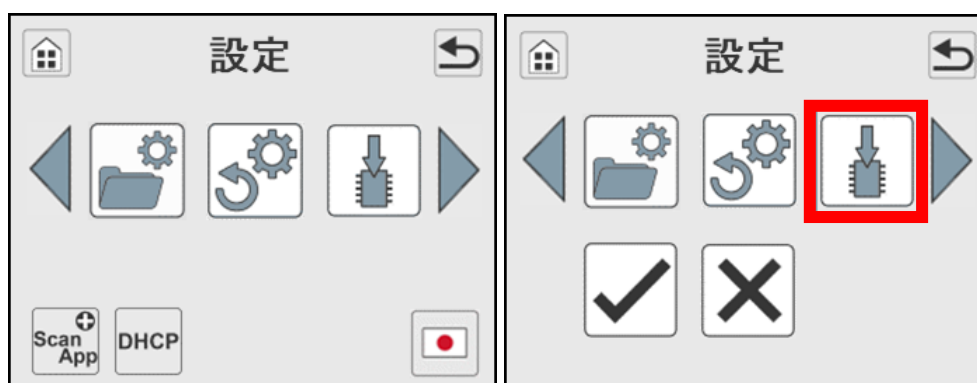
- このファームウェアが入っている USB メモリーをスキャナー前方の USB ポートに差し込みます。



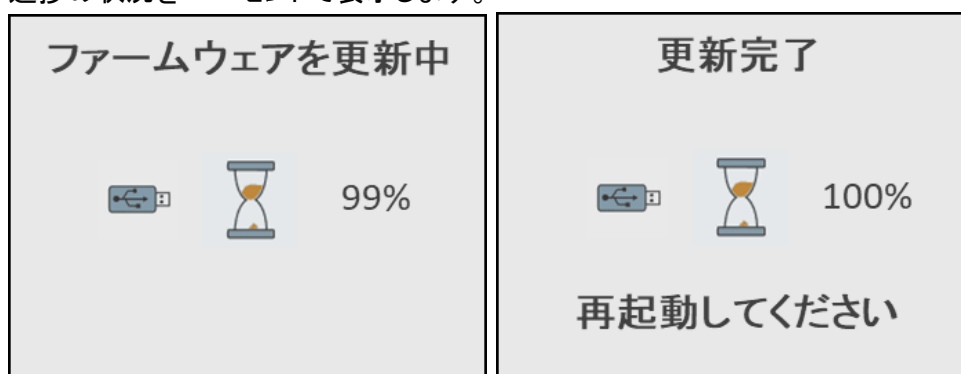
- USB メモリーにスキャナーのファームウェアがあることを検知すると「ファームウェア更新メニュー」の画面を自動的に開きます。
- マニュアルで「ファームウェア更新メニュー」を開くにはホーム画面から「スキャナーの設定」をタッチします。



- 左右アイコンでスクロールし、「ファームウェア更新」アイコンをタッチします。



- チェックのアイコンをタッチするとスキャナーはファームウェアの更新を開始し、進捗の状況をパーセントで表示します。



- **ファームウェアの更新中にスキャナーの電源を切るとスキャナーが故障する恐れがありますので十分にご注意ください。**ファームウェア更新の進捗情報がパーセント表示されます。
- ファームウェアが完全に更新されるまでお待ちください。この更新には数分かかります。更新完了後、スキャナーの電源を OFF にした後、再度 ON にし再起動して下さい。

トラブルシューティング

エラーコード

エラーコード	表示	メッセージ	対処方法
		スキャナーが開いています	スキャナーを閉じてください。
		原稿がありません	原稿をセットしてください。
1		無効なモデルです	電源オンオフ。解決しない場合はサービスにご連絡ください。
2		キャリブレーションしてください	電源オンオフ。解決しない場合 キャリブレーション (P73) してください。 電源オンオフ。解決しない場合 ステッチの調整 (P75) を行ってください。 電源オンオフ。解決しない場合はサービスにご連絡ください。
3		メモリー: 未検出	電源オンオフ。解決しない場合はサービスにご連絡ください。
4		メモリー: 読み込めません	
5		メモリー: 書き込めません	
6		メモリー: 空き容量不足	
7		メモリー: 未フォーマット	
8		メモリー: 終了されてません	
9		USB: 認識できません	USB メモリーを再度挿入してください。または別の USB メモリーを試してください。(フォーマット = Fat32、128GB 以下)
10		USB: 読み込めません	
11		USB: 書き込めません	
12		USB: 空き容量不足	
13		USB: 削除できません	
14		USB: 終了されていません	
15		プリンター未検出	操作に関するよくある質問 (P82) を参照してください。
16		プリンターエラー	
17		PC を認識できません	
18		PC エラー	
19		ステッチエラー	電源オンオフ。解決しない場合 ステッチの調整 (P75) を行ってください。
20		正常化エラー	電源オンオフ。解決しない場合 キャリブレーション (P73) してください。
21		LED 校正エラー	電源オンオフ。解決しない場合はサービスにご連絡ください。
22		ファームウェアエラー	電源オンオフ。解決しない場合は ファームウェアを更新する (P79) を行ってください。
23		スキャン中断エラー	スキャン to PC を行うと正しくスキャンできずに画像が途中で切れてしまう (P83) を参照してください。
24		拡張 PC を認識できません	Scan アプリ L が拡張 PC で起動していることを確認して下さい。

操作に関するよくある質問

原稿が正しく搬送されない

- スキャナーに原稿が真直ぐに挿入されていません。両手で原稿の両サイドを持って速やかにスキャナーの原稿挿入口に挿入してください。両端のドライブローラーに原稿が当たるまでしっかりと原稿を押し込みます。斜めに挿入された場合には、ペーパートレイを下げ用紙を取り出し、もう一度セットし直して下さい。原稿はスキャナーの中央に合わせて挿入してください。
- 原稿が真直ぐに挿入されるように原稿の右、または左に原稿ガイドを利用してください。
- 両端のレバーがしっかりとロックされてスキャナーが閉じられているか確認して下さい。
- 原稿サイズがスキャナーの仕様に合っていない可能性があります。仕様を確認して下さい。

スキャナーの自動サイズが正しく機能しない

- 原稿が挿入されるとスキャナーは原稿の先端をスキャンし、原稿の右端と左端を検知して原稿の幅を測定します。
- 自動サイズが正しい原稿幅を測定できるかどうかは原稿の状態によります。メディアの種類によってはその端を検知することが難しい場合があります、原稿の端すれすれまでに図や文字が書かれている場合、正しい原稿幅を測定することができない場合があります。
- スキャナーのスキャンガラスや原稿ホールドアップシステムが汚れていたり、またキャリブレーションがされていなかったりすると正しく原稿の端を検知することができない場合があります。必ずスキャナーを清掃してからキャリブレーションを行ってください。スキャナーが汚れている状態でキャリブレーションはしないでください。
- スキャナーに挿入された原稿の一方の端、または両端がスキャンセンサーの外側にはみ出している場合、原稿の端を検知することができません。その場合、原稿サイズを Auto24/Auto36(全幅)に設定してスキャンしてください。スキャナーはスキャナーの全幅をスキャンし、自動的に原稿の長さを検知します。

スキャナーの LED がつかない

- スキャナーの電源が入っていない可能性があります。電源ケーブルと電源アダプターがしっかりと差し込まれていて、スキャナーに正しく接続されていることを確認して下さい。

スキャナーの電源スイッチを入れると LED がオレンジのままの状態となる

- スキャナーが開いています。ペーパートレイの両端のレバーがロックされるまでスキャナー本体を両手で押し上げてしっかりと閉じます。

スキャン画像やコピーが真っ白になる

- 原稿が下向きの状態でスキャナーに挿入されているかもしれません。スキャンする面を上向きにし、スキャナーの中央に合わせて原稿をセットしてください。

スキャン開始のボタンを押しても、USB メモリーにスキャンデータが入らない

- USB メモリーが未対応の可能性があります。FAT32 フォーマットで 128GB 以下の容量の USB メモリーを使用して下さい。スキャンに十分な空き容量があることを確認して下さい。低めの解像度でスキャンするとデータサイズが小さくなります。

スキャン to PC を行うと正しくスキャンできずに画像が途中で切れてしまう

- スキャンの途中でスキャナーが停止し、少し経過した後に原稿が排紙され、スキャンデータが不完全な状態で(オリジナルより短い)PC に取り込まれている可能性があります。拡張ネットワークモード使用時にデータの転送時間がネットワークや PC の処理能力より早い場合に起こる可能性があります。ネットワークモードを標準モードにしてスキャンすることをお勧めします。ネットワークにデータを転送する前にスキャンデータをバッファリングします。
- 拡張ネットワークモードを使用したいときはネットワークと PC の速度を確認し、低い解像度でスキャンすることをお勧めします。

PC にスキャンデータを作成できない

- 選択した PC 上で Scan アプリ L が起動していなければなりません。
 - Scan アプリ L が起動している PC を検索してください。
 - Scan アプリ L に表示される IP アドレスがスキャナーと同じサブネット上にあることを確認して下さい。

コピー開始のボタンを押してもコピーできない

- 選択したプリンターナンバーのプリンターがオンライン上でコピーの準備ができていることを確認して下さい。利用可能なプリンターを検索してください。

接続をテストしてみる

- PC へのスキャン、またはコピーの作成が正しく行われえない場合、直接イーサネットでの接続を試してみてください。これはあくまでも接続の問題を解決する手段でこの接続での使用を推奨するものではありません
- スキャン to コピー：下記に示す固定 IP アドレスを使用し、スキャナーとプリンターをイーサネットケーブルで接続します
- スキャン to PC：下記に示す固定 IP アドレスを使用し、スキャナーと PC をイーサネットケーブルで接続します。PC が他のワイヤレスネットワークに接続されていないことを確認して下さい。
-

スキャナーIP = 192.168.001.**010**

サブネット= 255.255.255.000

プリンター IP = 192.168.001.**011**

サブネット = 255.255.255.000



PC IP = 192.168.001.**012**

サブネット= 255.255.255.000

- この方法で作動するようであればスキャナーと Scan アプリ L は正しく作動していると思われます。設定した IP アドレス(固定アドレス、または DHCP)を使用してローカルネットワークを経由して接続したときに不具合が起こる場合はネットワークの設定に問題があると思われます。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワークに関する情報

Lm シリーズスキャナーがネットワーク上でどのように通信するかを説明します。

コピー時のポートとプロトコルについて

- (1) スキャナーは UDP (ポート番号 161) に SNMP ブロードキャストパケットを送信し、プリンターの情報をリクエストし、ポート番号 161 にレスポンスを取得します。
 - 3 回のリトライを実施します。(タイムアウト値 5 秒から 10 秒の設定)
 - レスポンスがない場合、エラー 15 が表示されます。
- (2) スキャナーが SNMP のレスポンスを受けた後は UDP (ポート番号 47545) を介し CPCA プロトコルを使い直接プリンターとの通信を行います。
 - スキャナーがプリンターのスリープ状態とペーパーの情報を要求します。
 - この通信が正しく行われない場合はエラー 16 が表示されます。
- (3) IVEC プリンター (TM-250/350, TM-255/355, TM-240/340) と通信を行う場合、TCP ポート番号 80 を介し、HTTP プロトコルを使いプリンターのビルトイン HMI データベースからの情報を要求します。
 - この通信が正しく行われない場合はエラー 16 が表示されます。
- (4) プリンターのステータス、通信が正常であればスキャナーは TCP ポート番号 9100 を介し、LPR プロトコルを使いプリントジョブをセットアップします。
 - この通信が正しく行われない場合はエラー 16 を表示されます。

スキャン時のポートとプロトコルについて

- (1) スキャナーは UDP ポート番号 706 に独自のブロードキャストパケットを送信して PC を検索します。
 - 3 回のリトライを実施します。(それぞれタイムアウトは一秒)
- (2) スキャナーが PC からのレスポンスを受信するとポート番号 710 を介し TCP 接続を開通しようと試みます。
 - この試行のタイムアウトは一秒です。

スキャナーの情報取得時のポートとプロトコルについて

- (1) Scan アプリ L は UDP ポート番号 704 で独自のブロードキャストパケットを送信してスキャナーを検索します。

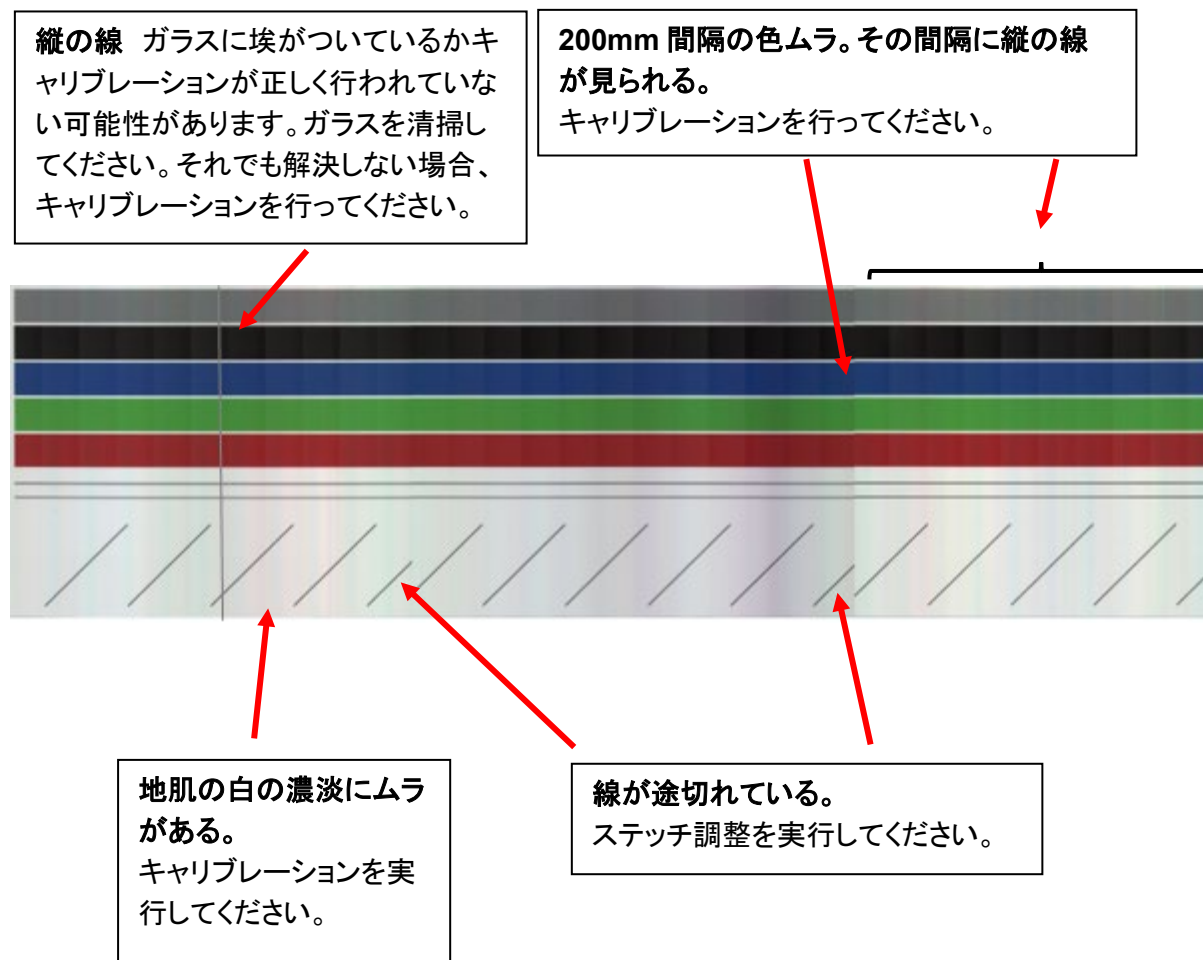
動作環境

- 一つのネットワーク上に複数の Lm24、Lm36、複数の Scan アプリ L を起動している PC、TM プリンター(TM-250/350, TM-255/355, TM-240/340)を接続し、起動させることができます。
※同一ネットワーク(セグメント)でのみ動作可能となっています。

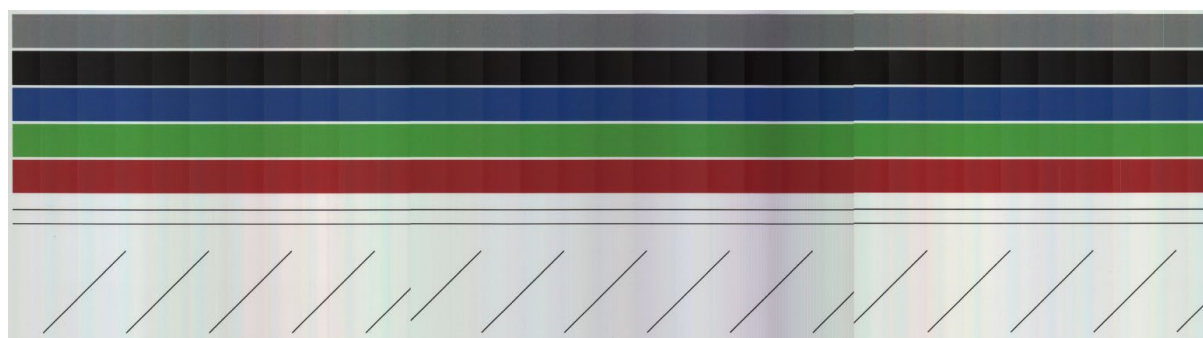


画質

- 下記のスキャン画像の様に画像に異常がみられる場合、スキャナーに何らかの不具合があると考えられます。不具合にあった処置を実行してください。

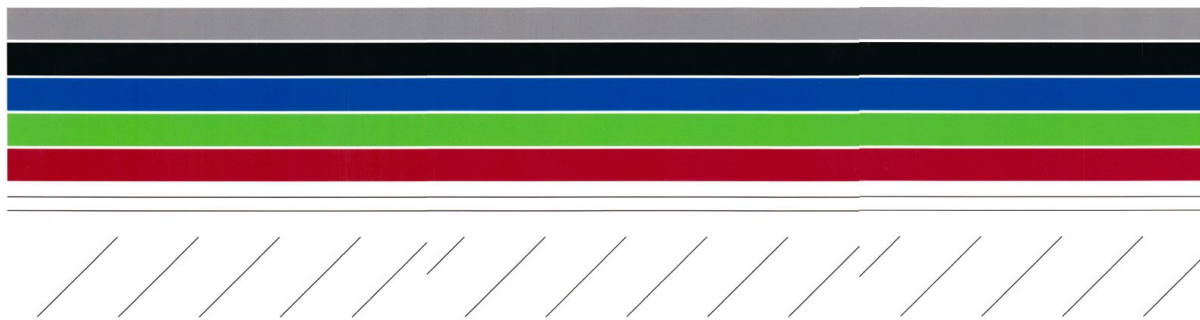


- スキャナーをクリーニングすることで埃による縦の線を取り除くことができます。
[スキャナーのクリーニング](#) (72 ページ) を参照してください。

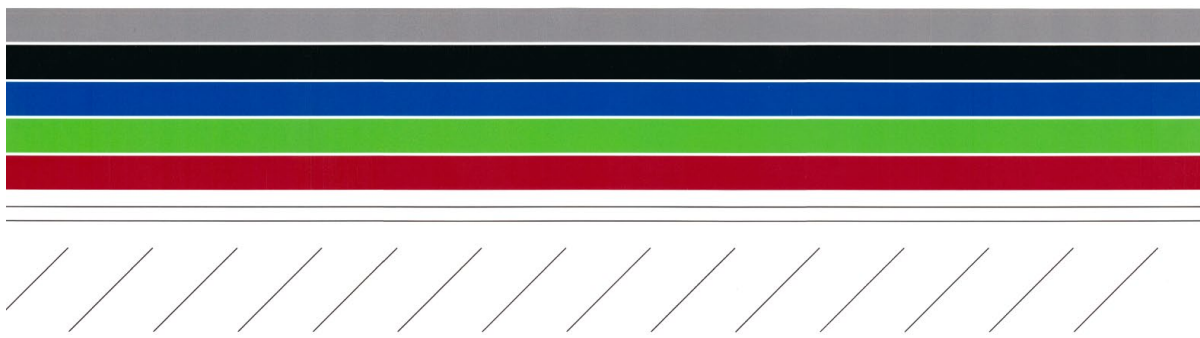


スキャナーをキャリブレーションすることで色ムラやその間に入る縦の線を取り除き、地肌の色もきれいになります。キャリブレーションはセンサーのピクセルの光学的な感度を調整し、白と黒を正しいレベルに戻します。

[キャリブレーション](#) (73 ページ) を参照してください。



- ステッチ調整で線の途切れを直す。
ステッチ調整はそれぞれのセンサーの継ぎ目を自動的に調整し、継ぎ目の前後、左右に起こるズレを補正します。[ステッチの調整](#) (75 ページ) を参照してください。

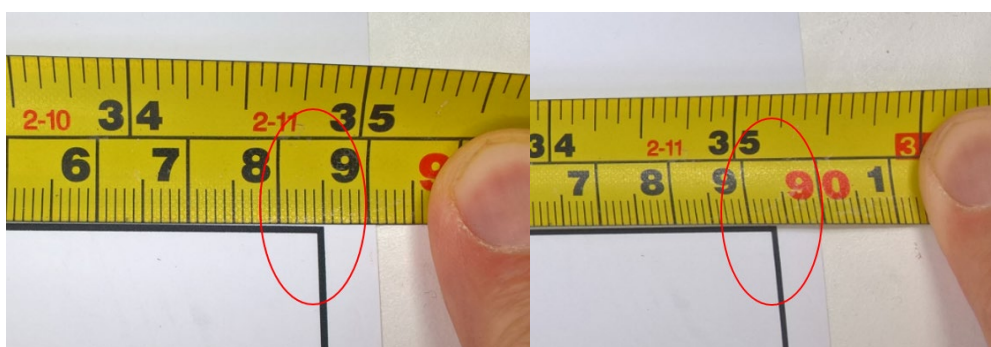


スキャンやコピーの長さが正しくない

- 原稿の中の図枠の長さがコピー原稿の図枠の長さとは異なる場合、「スキャン長さ調整」機能で調整することができます。[スキャン長さの調整\(自動\)](#) (77 ページ) を参照してください。

オリジナル

コピー



Lm24 /Lm36 スキャナーの技術仕様

製品名	Lm24	Lm36
モデル	TM プリンター専用 MFP スキャナー 対応プリンター: TM-250/350, TM-255/355, TM-240/340	
スキャンテクノロジー	2 方向から照射する複数の LED 光源を使用した シングルセンサーテクノロジー	
光源	64 個の LED	96 個の LED
光学解像度 (dpi)	600dpi	
スキャンモード時の解像度	200(標準) / 300(きれい) / 600dpi(最高)	
コピーモード時の解像度 (スキャン/プリント)	300/300(標準)、300/600(きれい)、600/600dpi(最高)	
原稿給紙/排紙方法	読み取り面を上(フェイスアップ)前面給紙、後方排紙 ペーパーリターンガイド付属(Lm24 に1個、Lm36 に3 個)	
読取り幅 (インチ)	24 インチ	36 インチ
最小読取り幅	16cm	15cm
原稿幅	26 インチ	38 インチ
最大スキャン長	2768mm	
重量 (リターンガイド含まない)	5.45kg	7.25kg
外形寸法 幅(mm)	935mm	1238mm
外形寸法 高さ(mm)	131mm	
外形寸法 奥行(mm)	ペーパーリターンガイド含まずペーパートレイを畳んだ状態: 146mm ペーパーリターンガイド含まずペーパートレイを開いた状態: 193mm ペーパーリターンガイド含み、ペーパートレイを畳んだ状態: 206mm ペーパーリターンガイド含み、ペーパートレイを開いた状態: 253mm	
最小 / 最大メディア厚	キヤノン TM プリンターCAD ペーパーを使用する設計 最小 0.07mm 最大 0.8mm	
精度	±0.2%、±1 ピクセル	
電源	外部供給電源: 入力: 100~240VAC、50-60Hz 出力 DC19V、容量: 3.42A	
最大消費電力	待機モード時: 0.6W アイドル時: 11.7W 動作時: 17.5W	
規格認証	国際エネルギースタープログラム、グリーン購入法、 VCCI クラス A 情報処理装置、CE、FCC	
最大スキャニングスピード (インチ/秒)	コピー 300/300dpi 標準 = 1ips カラー、3ips モノクロ 300/600dpi きれい = 1ips カラー、3ips モノクロ 600/600dpi 最高 = 0.5ips カラー、1.5ips モノクロ スキャン 200dpi 標準 = 1ips カラー、3ips モノクロ 300dpi きれい = 0.5ips カラー、1.5ips モノクロ 600dpi 最高 = 0.33ips カラー、1ips モノクロ	

Scan to USB	USB2、128GB FAT32
Scan to ネットワーク Scan アプリ L	Scan アプリ L - スキャンディレクトリーを設定 PC の最小必要動作環境 Windows® 10/11 - 32 ビット・100Mbps イーサネット・Intel® Celeron、Core-Duo、Core-2-Duo または 2.8GHz HyperThreading (HT) または AMD® Dual-Core processors・2GB RAM・アプリケーション用に最低 2GB と画像用に 20GB の空容量を持つ高速 7,200rpm Serial ATA (SATA) HDD PC 推奨動作環境 Windows® 10/11 - 64 ビット・100Mbps イーサネット・Intel® i3、i5 または i7 プロセッサー・4GB RAM・SATA 6.0Gbit/秒 USB3 ポート(基盤)と SATA 6.0Gbit 7,200 rpm HDD コントローラー
ScanAppL (Scan アプリ L) ソフトウェア	ScanAppL (Scan アプリ L) は、Lm24、Lm36 スキャナーのみに対応。リモートスキャンには、対応していません。
モード	スキャン to USB RGB / グレースケール / モノクロ、TIFF (Scan アプリ L を介しません) RGB / グレースケール / モノクロ、JPEG、PDF、M-PDF (要 Scan アプリ L) スキャン to PC RGB / グレースケール / モノクロ、TIFF、JPEG、PDF、TIFFG4、M-PDF コピー RGB / グレースケール / モノクロ コピー&アーカイブ 上記にある「コピー」と「スキャン to PC」のコンビネーション
Lm24 / Lm36 言語	日本語 / 英語
Scan アプリ L (ScanAppL) 言語	英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、簡体/繁体中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、日本語、チェコ語、ポーランド語
推奨使用環境 (操作環境)	温度条件: 10 - 35°C 相対湿度: 10 - 90%
騒音	Lm24 - 48.4dB (グレースキャン時) Lm36 - 50.6dB (グレースキャン時)

仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

用語集

128GB	128 ギガバイト。メモリーサイズ。
ANSI	America National Standards Institute の略。用紙の定型サイズ。
ARCH	Architectural paper sizes の略。用紙の定型サイズ。
ステッチ調整	それぞれのセンサーの継ぎ目を自動的に調整し、継ぎ目の前後、左右に起こるズレを補正します。
キャリブレーション	キャリブレーションはセンサーのピクセルの光学的な感度を調整し、白と黒を正しいレベルに戻します。
DPI	Dots per Inch の略でインチ内のスキャンやプリントのピクセル数。
ISO	International Organization for Standardization の略で用紙の定型サイズ。
FAT32	File Allocation Table file system の略。Windows で採用しているファイルシステムの一つでメモリーに保存されているデータ構成を定義します。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略で IP アドレスを自動的に割り振るためのプロトコルです。
IP Address	Internet Protocol Address の略。それぞれのデバイスがネットワーク上で認識されるために使う数字で作られたアドレス。
STATIC IP アドレス	DHCP によって変更されないデバイスのインターネット固定 IP アドレス。
サブネットマスク	IP アドレスをネットワークアドレスとホストアドレスに分離します。サブネットマスクと IP アドレスはセットとして使われます。
LED illumination	Light Emitting Diode の略。長寿命で効率的な明るい光源。
LCD display	Liquide Crystal Display の略。操作画面のことを言います。
PDF	Portable Document Format の略で ISO によって定義されているファイルフォーマット。スキャン画像は通常 JPEG ファイルに書き込まれます。
JPEG	Joint Photographic Experts Group ファイルフォーマットの略でデジタル画像用にデータ内容を少し削減して圧縮するデータ形式のこと。
TIFF	Tagged Image File Format の略。画像は、ロスレス、非圧縮ファイルフォーマットで保存します。ファイルサイズが大きくなりますがデータロスはありません。
UI	ユーザーインターフェース - LCD ディスプレイとキーパッドからなる操作画面。
USB	Universal Serial Bus の略。デバイスの USB ポートに差し込むメモリースティック。
白ポイント	このバーを増やすことで地肌をきれいにすることができます。白いエリアをより白くします。
黒ポイント	このバーを増やすことで画像の暗いエリアの濃さが増し、黒がより黒くなります。
Windows® Tray App.	バックグラウンドで実行され、ユーザーにメッセージを表示するソフトウェアアプリケーション。



コピー



スキャン to PC



スキャン to USB



コピー& アーカイブ

Lm24 / Lm36 アイコンガイド(機能の設定)

- カラーモード:

	カラー		グレースケール		モノクロ
--	-----	--	---------	--	------
- 画質モード:

	標準		きれい		最高
--	----	--	-----	--	----
- 原稿サイズ:

AUTO	幅・長さ共に自動		AUTO 24	AUTO 36	幅は 24/36 インチに固定 長さは自動	
ISO	A4	A3	A2	A1	A0	ISO サイズ
ANSI	A	B	C	D	E	ANSI サイズ
ARCH	A	B	C	D	E	ARCH サイズ
- 原稿の向き:

	縦置き		横置き
--	-----	--	-----
- コピー倍率(%表示):

25%	35%	50%	71%	100%	141%	200%	283%	287%	400%	432%
-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------

 - ☐ ISO ISO サイズ

A4	A3	A2	A1	A0	入力サイズ
A4	A3	A2	A1	A0	出力サイズ
 - ☐ ANSI ANSI サイズ

A	B	C	D	E	入力サイズ
A	B	C	D	E	出力サイズ
 - ☐ ARCH ARCH サイズ

A	B	C	D	E	入力サイズ
A	B	C	D	E	出力サイズ
- 明るさ:

	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	-3 to +3
--	----	----	----	---	----	----	----	----------
- 白ポイント:

0	1	2	3	4	5	6	0 to +6
---	---	---	---	---	---	---	---------
- 黒ポイント:

0	1	2	3	4	5	6	0 to +6
---	---	---	---	---	---	---	---------
- 枠のトリミング:

	オフ		オン (3mm の余白をトリミング)
--	----	--	--------------------
- プリンターナンバー選択:

AUTO	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---
- PC ナンバー選択:

AUTO	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

Lm24 / Lm36 アイコンガイド(スキャナーの設定)

- 
 スキャナーの情報
- 
 現在の設定を保存する
- 
 工場出荷時の設定に戻す
- 
 ファームウェアを更新する
- 
 キャリブレーション
- 
 ステッチの調整
- 
 スキャン長さの調整
- 
 ネットワークモード:

 標準モード
  拡張モード
- 
 プリンター#の設定:

AUTO

1

2

3

4

5

6

7

8

9
- 
 PC#の設定:

AUTO

1

2

3

4

5

6

7

8

9

+
- 
 ネットワークの設定:

DHCP

DHCP

STATIC

IP

SUBNET
- 
 原稿取込み時間(秒):

0.0s

0.1s

0.3s

0.5s

1.0s

2.0s
- 
 省電力タイマー(分):

1m

5m

10m

15m

30m

60m
- 
 使用する言語の設定:



 英語



 日本語
- 
 エンジニアメニュー

アイコンメッセージの意味:

- 
 スキャン中
- 
 スキャナーが開いています。スキャナーを閉じてください。
- 
 原稿がセットされていません。原稿をセットしてください。
- 
 スキャナーが汚れています。クリーニングしてください。